

第1章 杵築市の現状と将来見通し

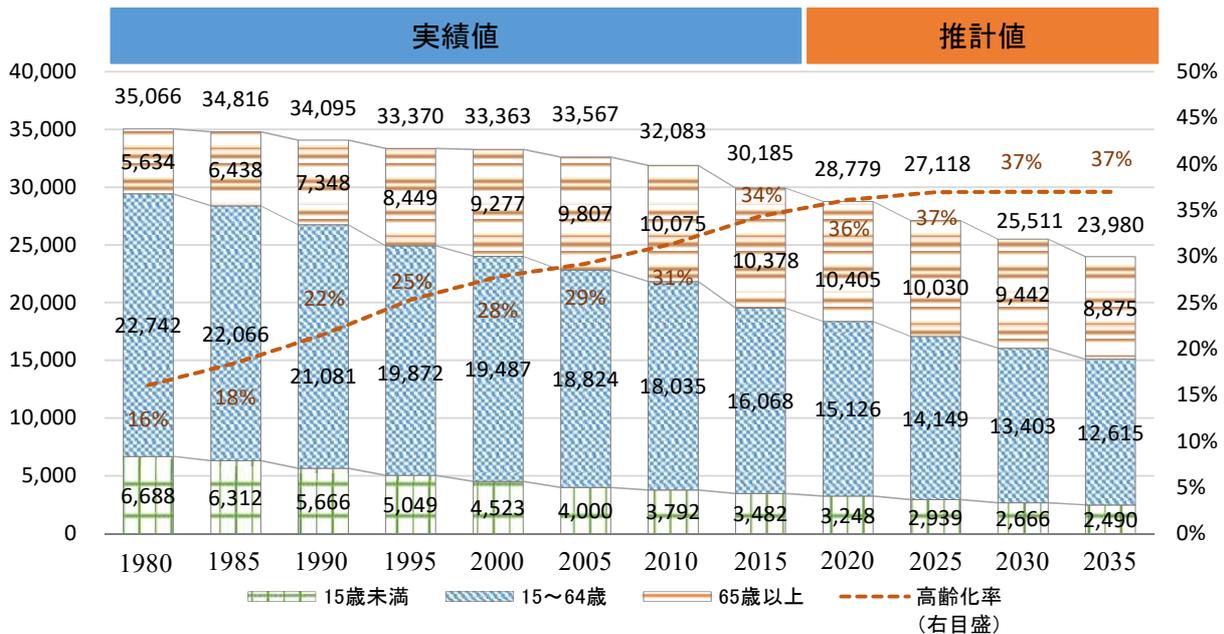
1. 人口の動向と将来見通し

(1) 人口の推移と将来人口

国勢調査に基づく本市の総人口は、一貫して減少傾向にあり、2015年の人口は30,185人となっています。将来人口推計では、10年後(2025年)には約27,000人、20年後(2035年)には更に3,000人減少して約24,000人になると予想されています。

年齢3階級別では、65歳以上人口は増加傾向ですが、5年後(2020年)に10,405人のピークを迎えた後、減少に転ずると予想されています。高齢化率は、1980年の16%から上昇し、2015年には34%に達しましたが、今後上昇は鈍化し2025年以降は37%で横ばいと推計されています。15歳未満人口は、減少が続き2015年には1980年のほぼ半数まで減少し、今後も緩やかに減少が続くと予想され、15~64歳人口も一貫して減少が続くと予想されています。

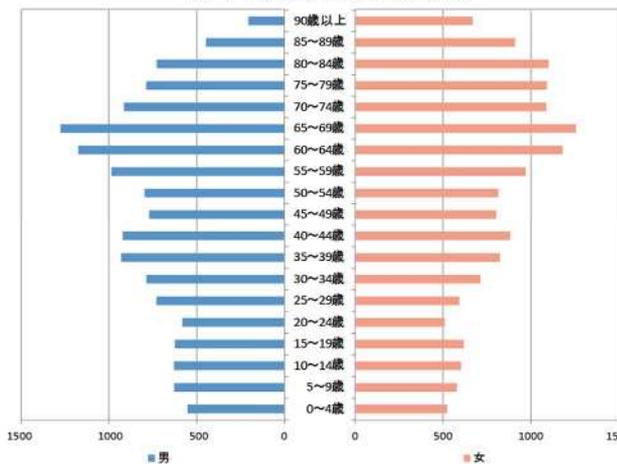
■人口の推移と将来推計



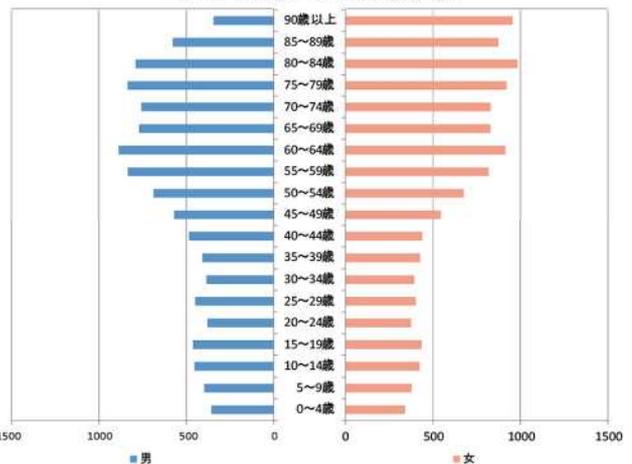
※1980~2015は、年齢不詳のため年齢層別人口の合計と総数が一致しない場合がある

資料：国勢調査(1980~2015)、国立社会保障人口問題研究所(2020~2035)

2015年人口年齢階層別人口



2035年人口年齢階層別人口



(2) 人口密度の現状と将来予測

①推計方法

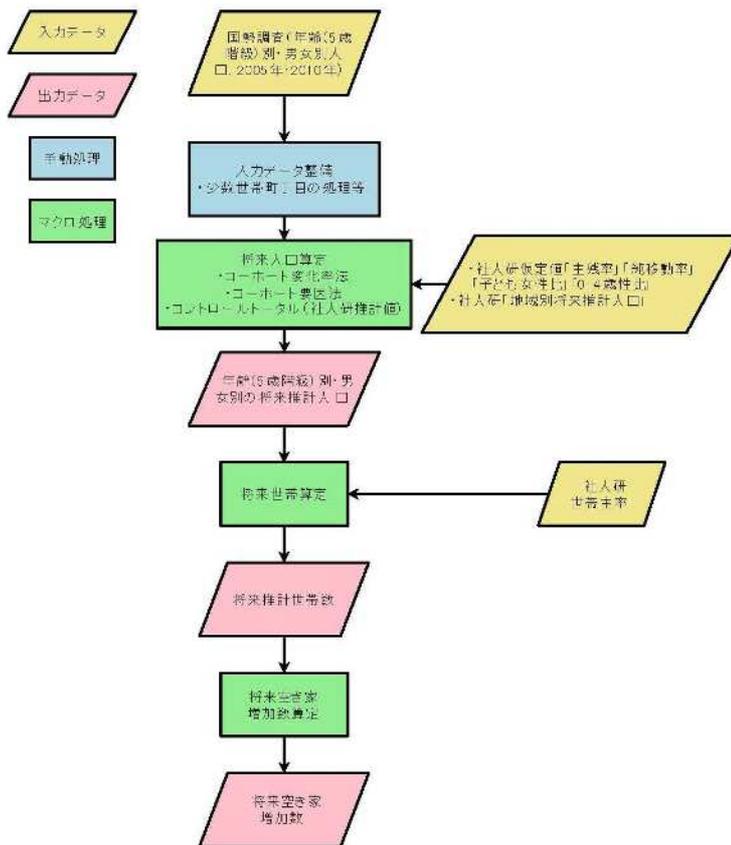
現状及び将来における人口の詳細な分布を把握するために、100mメッシュ単位の人口分布の推計を行います。推計値は、国土交通省国土技術政策総合研究所が公開している「小地域（町丁・字）を単位とした将来人口・世帯予測ツール[試行版]」を用いて行います。

本ツール内の「将来人口・世帯予測プログラム」は、2005年及び2010年の国勢調査人口をもとに、国立社会保障・人口問題研究所の「地域別将来推計人口（市区町村）」をコントロールトータルとして、コーホート要因法による将来人口予測を行うものです。

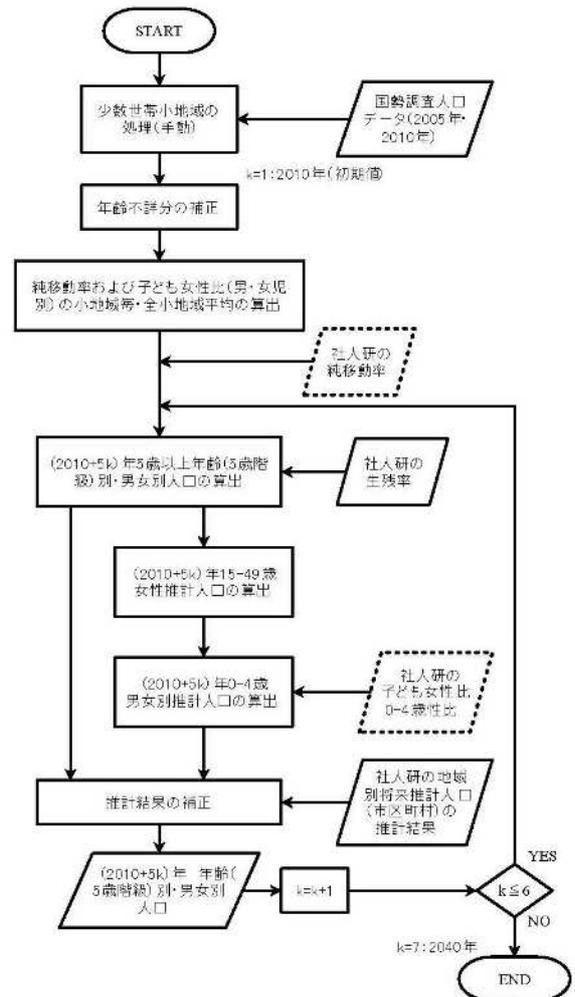
本推計では、コーホート要因法を用い、小地域毎に算出した純移動率及び子ども女性比を、杵築市の全小地域で平均し、この平均値を用いて将来人口予測を行います。また、100mメッシュデータの作成にあたっては、国土数値情報「土地利用細分メッシュデータ（100m）メッシュ」を用い、「建物用地」に該当するメッシュに対し人口を配分します。

推計の結果、特異値が発生する小地域では、コーホート変化率・純移動率を用いず、杵築市の全ての小地域で平均した値を用いて将来人口の推計を行います。

■将来人口・世帯予測プログラムの処理フロー



■コーホート要因法の処理フロー



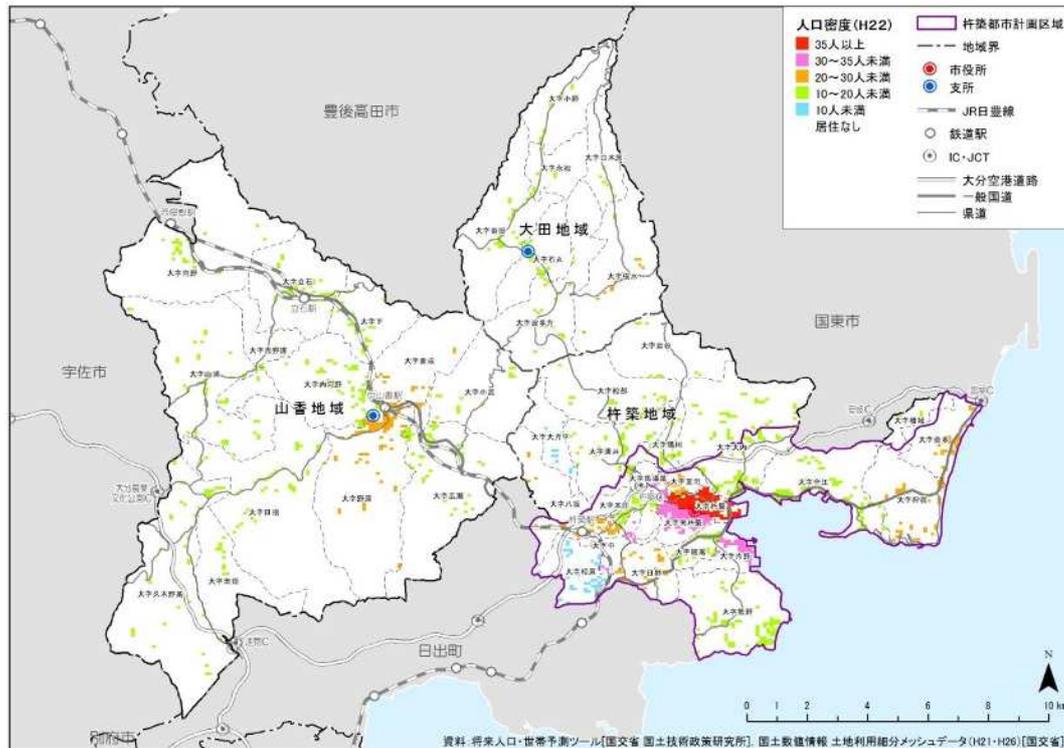
資料：小地域（町丁・字）を単位とした将来人口・世帯予測ツール[試行版]について／国土交通省 国土技術政策総合研究所 都市研究部

②人口密度の現状と将来予測

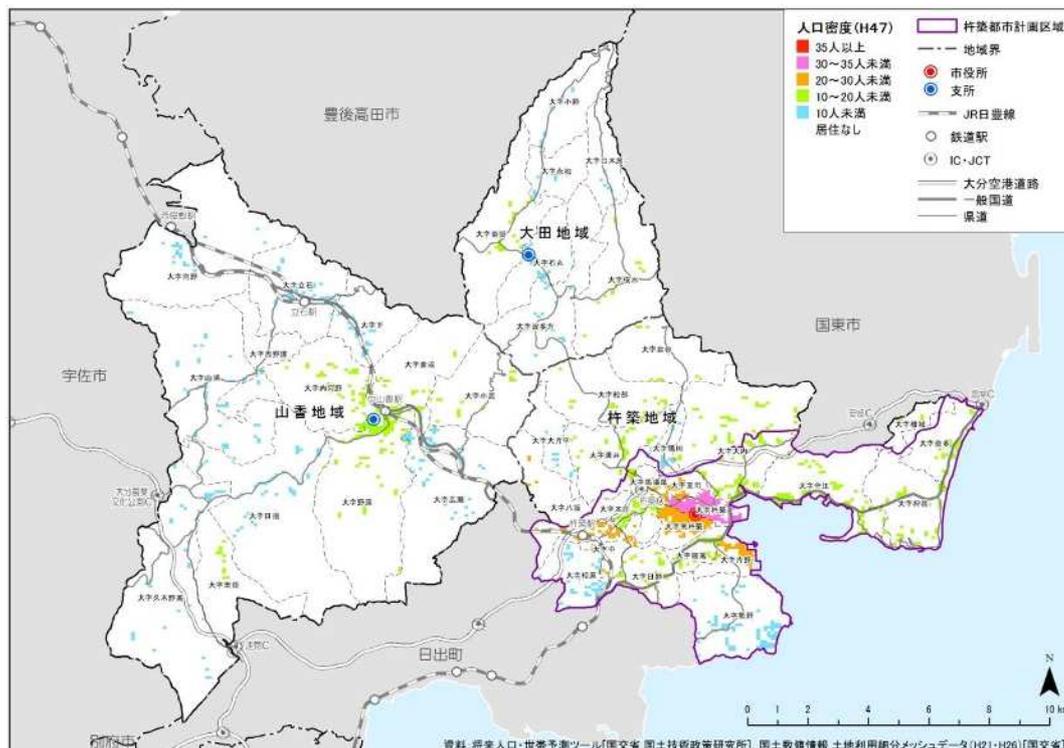
2010年の都市計画区域内の人口密度は、市役所及びバスターミナル周辺に35人/ha以上、JR 杵築駅周辺や奈多、狩宿、日野では20~30人/haのメッシュが分布しています。都市計画区域外では、JR 中山香駅周辺に20~30人/haのメッシュが分布しています。

2035年時点の人口密度の推計値は、市全域の人口密度が低下し、30~35人/haのメッシュは、杵築バスターミナル周辺のみとなることが予測されています。

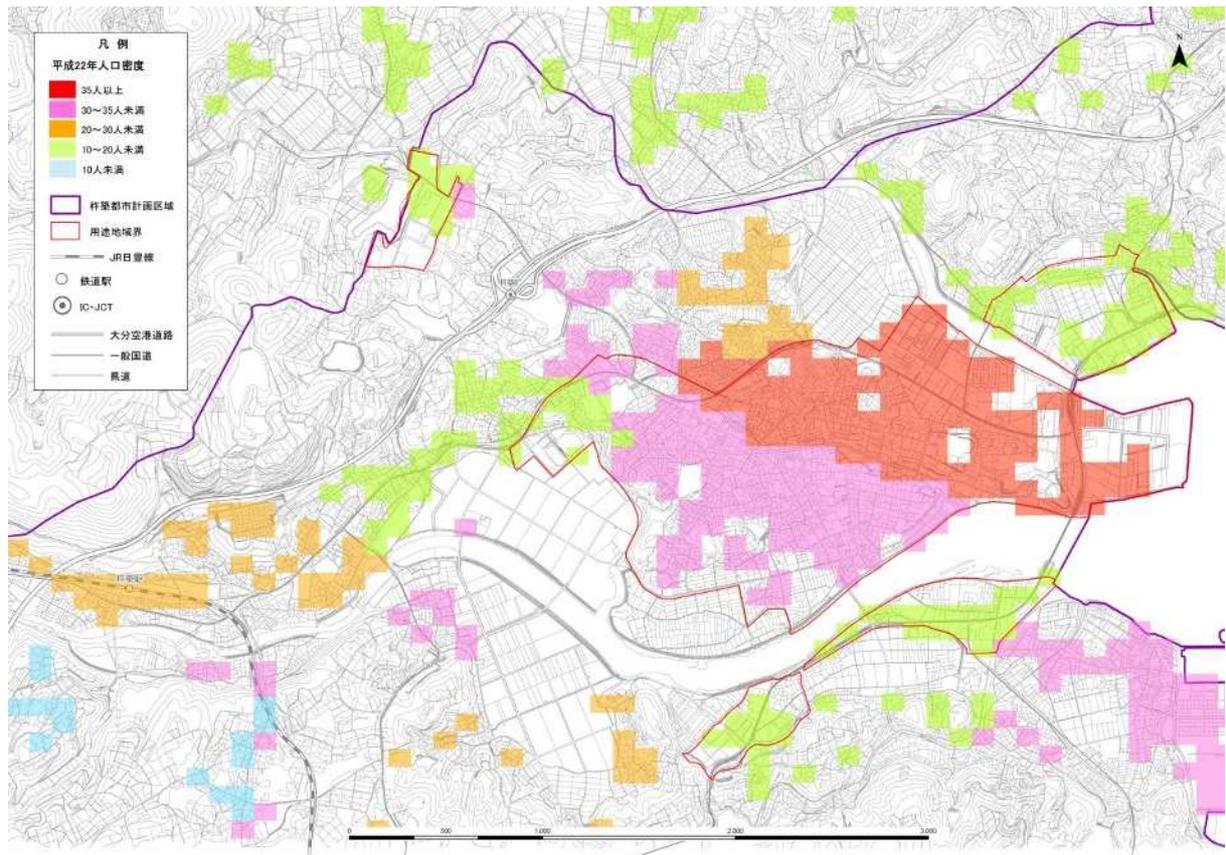
■ 2010人口密度分布（100mメッシュ）



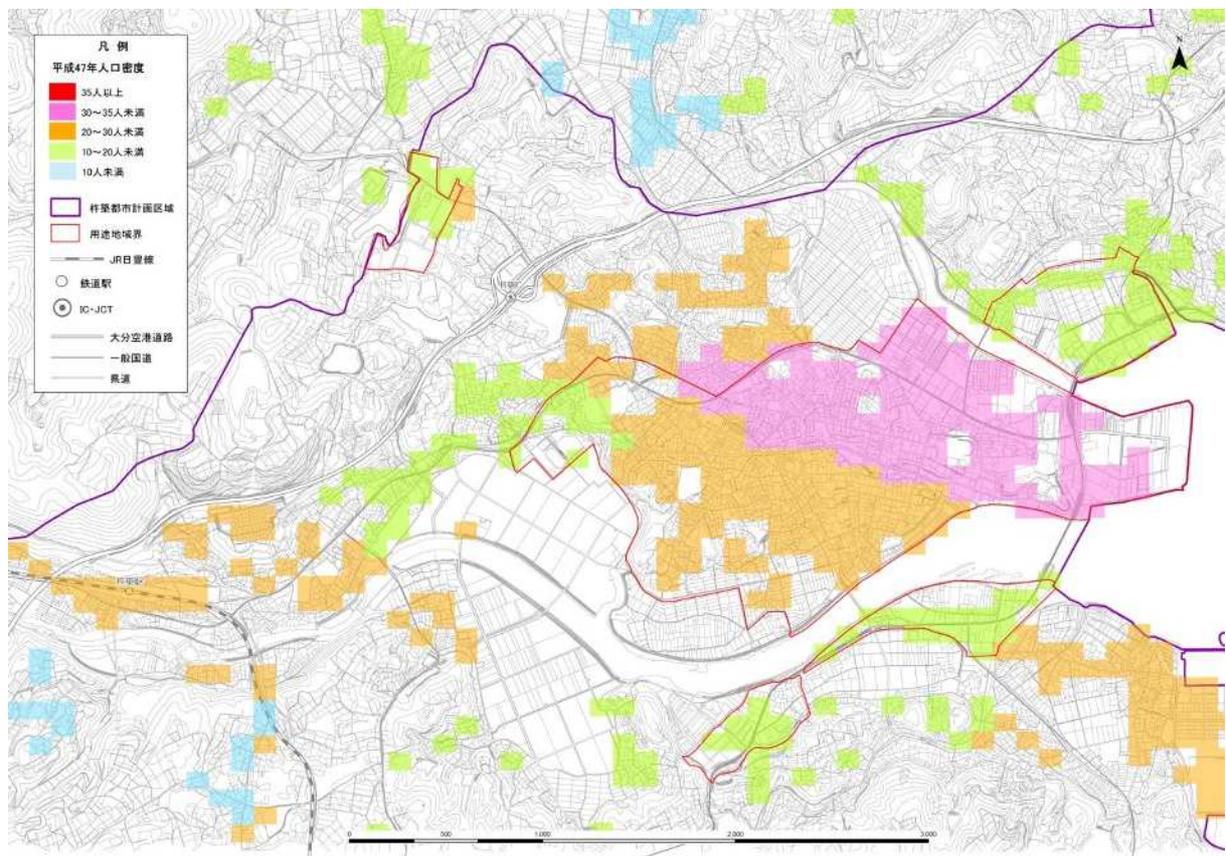
■ 2035人口密度分布（100mメッシュ）



■ 2010市街地人口密度（100mメッシュ）



■ 2035市街地人口密度（100mメッシュ）



(3) 地区別人口の推移と将来予測

2000年から2015年にかけての都市計画区域内の地区別人口の推移は、19地区のうち、人口が増加した地区は6地区、人口が減少した地区は13地区でした。

最も人口増加率の高い地区は、宮司で44.5%の増加、次いで中が34.2%、杵築が17.1%の増加となっています。

一方、最も人口減少率が高い地区は、鴨川で19.7%の減少、次いで溝井が19.0%、馬場尾が16.9%の減少となっています。

年齢3階級別に見ると、中、宮司、杵築では、年齢3階級全てにおいて人口が増加しています。その他の地区は、0～14歳人口及び15～64歳人口が減少し、65歳以上人口が増加する状況にあり、少子高齢化の進展が窺えます。

地区別の将来人口を見ると、2015年から2035年にかけて、全ての地区で人口の減少が見込まれ、特に、日野では35.9%、熊野では34.5%、溝井では31.5%の減少となっています。

また、ほぼ全ての地区で高齢化率が上昇し、0～14歳人口及び14～64歳人口の割合は減少傾向にあります。

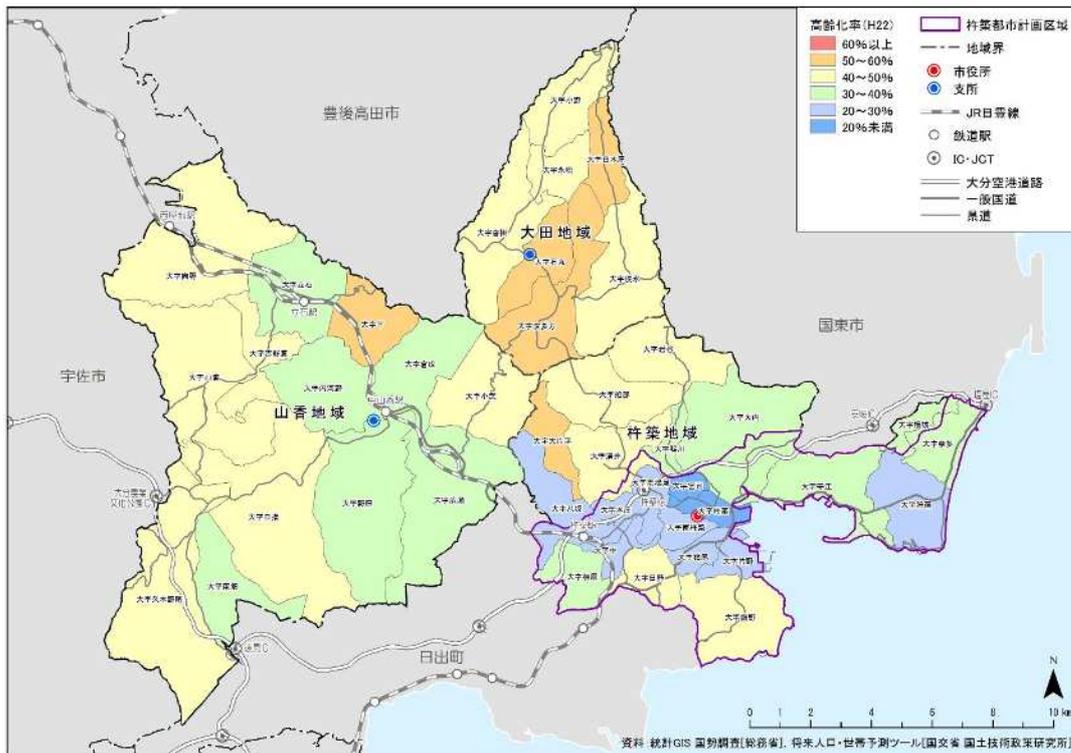
■地区別将来人口（2000～2035）

地区別	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2000/2015 比	2015/2035 比
杵築	3,627人	3,771人	4,184人	4,248人	4,202人	4,146人	4,071人	3,992人	17.1%	-6.0%
0-14歳	16.7%	13.2%	18.9%	18.5%	17.1%	13.6%	12.6%	11.8%		
15-64歳	65.9%	69.3%	62.4%	63.1%	63.0%	65.9%	63.2%	62.7%		
65歳以上	17.4%	17.6%	16.9%	18.5%	19.9%	20.5%	22.2%	25.5%		
南杵築	3,365人	3,359人	3,349人	3,271人	3,161人	3,046人	2,922人	2,800人	-2.8%	-14.4%
0-14歳	16.3%	17.7%	14.9%	14.0%	13.6%	12.4%	11.7%	11.2%		
15-64歳	63.2%	58.7%	59.1%	58.5%	57.7%	58.5%	58.0%	57.6%		
65歳以上	20.5%	23.6%	26.1%	27.5%	28.7%	29.2%	30.3%	31.2%		
宮司	385人	514人	563人	560人	553人	546人	537人	528人	45.5%	-5.7%
0-14歳	14.8%	13.8%	19.7%	17.1%	15.7%	14.1%	13.0%	12.3%		
15-64歳	60.3%	62.1%	62.3%	65.0%	64.7%	65.0%	63.1%	61.6%		
65歳以上	24.9%	24.1%	17.9%	17.9%	19.5%	21.4%	24.0%	25.9%		
馬場尾	391人	369人	334人	325人	314人	301人	286人	273人	-16.9%	-16.0%
0-14歳	14.6%	20.3%	11.1%	11.7%	11.8%	11.6%	10.5%	9.9%		
15-64歳	62.7%	57.2%	62.9%	61.2%	57.6%	55.8%	55.9%	56.0%		
65歳以上	22.8%	22.5%	26.0%	27.4%	30.6%	32.9%	33.9%	33.7%		
大内	2,179人	2,306人	2,208人	2,081人	1,953人	1,833人	1,724人	1,620人	-4.5%	-22.2%
0-14歳	14.9%	16.0%	10.9%	10.2%	10.8%	11.2%	10.8%	10.5%		
15-64歳	58.0%	53.6%	55.5%	55.0%	52.3%	51.8%	52.0%	52.5%		
65歳以上	27.1%	30.3%	33.7%	34.8%	36.9%	37.0%	37.2%	37.0%		
猪尾	741人	818人	658人	649人	625人	599人	576人	547人	-12.4%	-15.7%
0-14歳	15.2%	14.4%	10.2%	10.8%	10.1%	11.0%	10.8%	10.8%		
15-64歳	63.0%	66.6%	65.2%	61.2%	56.6%	56.3%	56.4%	56.3%		
65歳以上	21.7%	18.9%	24.6%	27.7%	33.1%	32.9%	33.0%	33.1%		
片野	1,620人	1,724人	1,538人	1,507人	1,449人	1,381人	1,308人	1,229人	-7.0%	-18.4%
0-14歳	16.5%	15.8%	12.2%	10.2%	10.0%	10.1%	9.3%	9.4%		
15-64歳	63.4%	64.6%	62.4%	58.6%	56.5%	55.2%	55.5%	53.5%		
65歳以上	20.1%	19.6%	25.5%	31.1%	33.5%	34.8%	35.2%	36.9%		
熊野	1,062人	1,263人	1,188人	1,103人	1,010人	914人	816人	723人	3.9%	-34.5%
0-14歳	11.1%	12.5%	7.6%	7.0%	7.5%	7.8%	7.6%	8.0%		
15-64歳	58.9%	52.8%	50.8%	43.3%	39.0%	38.1%	39.2%	41.4%		
65歳以上	30.0%	34.7%	41.7%	49.8%	53.4%	54.5%	53.2%	50.3%		
本庄	579人	620人	560人	541人	516人	488人	459人	428人	-6.6%	-20.9%
0-14歳	13.0%	17.4%	11.1%	11.1%	10.5%	11.1%	10.9%	11.1%		
15-64歳	64.9%	59.8%	62.7%	56.2%	53.8%	50.8%	49.4%	49.2%		
65歳以上	22.1%	22.7%	26.3%	33.3%	35.6%	38.1%	39.7%	39.7%		
八坂	1,469人	1,424人	1,293人	1,242人	1,185人	1,125人	1,065人	1,007人	-15.5%	-18.9%
0-14歳	17.7%	20.2%	11.4%	10.5%	10.5%	11.1%	10.9%	11.1%		
15-64歳	58.6%	54.4%	59.5%	57.4%	53.8%	50.8%	49.4%	49.2%		
65歳以上	23.7%	25.4%	29.1%	32.1%	35.6%	38.1%	39.7%	39.7%		
相原	555人	577人	517人	491人	464人	436人	406人	377人	-11.5%	-23.2%
0-14歳	14.1%	19.4%	9.9%	8.8%	9.7%	9.9%	9.6%	9.5%		
15-64歳	56.9%	53.2%	59.0%	57.2%	51.5%	47.9%	47.5%	48.8%		
65歳以上	29.0%	27.4%	31.1%	34.2%	39.2%	42.4%	42.9%	41.4%		
中	357人	342人	495人	479人	462人	444人	426人	409人	34.2%	-14.6%
0-14歳	9.8%	12.6%	15.6%	16.1%	15.4%	11.7%	11.0%	11.0%		
15-64歳	57.7%	52.9%	59.0%	57.2%	56.7%	60.1%	60.3%	59.4%		
65歳以上	32.5%	34.5%	25.5%	26.3%	28.1%	27.9%	27.9%	29.8%		
日野	696人	687人	659人	593人	533人	478人	429人	380人	-14.8%	-35.9%
0-14歳	7.8%	10.2%	5.8%	6.2%	6.2%	6.7%	6.5%	7.1%		
15-64歳	57.0%	52.8%	52.2%	45.0%	42.0%	39.3%	41.3%	41.1%		
65歳以上	35.2%	37.0%	42.0%	49.4%	52.0%	53.6%	52.0%	51.8%		
鴨川	380人	392人	325人	305人	284人	263人	241人	220人	-19.7%	-27.9%
0-14歳	9.2%	14.0%	6.5%	7.2%	8.8%	9.5%	10.0%	10.9%		
15-64歳	57.4%	52.0%	56.6%	52.1%	44.0%	40.3%	41.9%	42.7%		
65歳以上	33.4%	33.9%	36.9%	40.7%	47.2%	49.8%	48.1%	46.8%		
溝井	843人	825人	753人	683人	621人	566人	516人	468人	-19.0%	-31.5%
0-14歳	11.7%	13.3%	8.0%	8.1%	7.9%	8.5%	8.7%	9.2%		
15-64歳	57.7%	51.9%	51.3%	47.3%	43.2%	41.3%	43.4%	45.5%		
65歳以上	30.6%	34.8%	40.8%	44.7%	49.3%	50.0%	48.3%	45.3%		
横城	135人	132人	125人	117人	108人	100人	91人	82人	-13.3%	-29.9%
0-14歳	11.9%	17.4%	11.2%	11.1%	12.0%	9.0%	9.9%	9.8%		
15-64歳	56.3%	50.0%	52.8%	44.4%	46.3%	48.0%	44.0%	47.6%		
65歳以上	31.9%	32.6%	36.0%	45.3%	44.4%	43.0%	44.0%	43.9%		
奈多	601人	556人	587人	557人	526人	464人	462人	432人	-7.3%	-22.4%
0-14歳	12.0%	13.1%	11.9%	11.5%	10.6%	9.3%	9.1%	9.0%		
15-64歳	58.6%	53.6%	57.1%	54.9%	53.8%	53.8%	51.9%	50.7%		
65歳以上	29.5%	33.3%	31.0%	33.4%	35.9%	36.6%	39.0%	40.3%		
狩宿	973人	884人	857人	834人	799人	760人	720人	683人	-14.3%	-18.1%
0-14歳	13.9%	17.2%	12.0%	12.0%	11.3%	11.2%	11.1%	11.1%		
15-64歳	64.0%	55.2%	60.1%	56.4%	54.9%	54.1%	54.3%	54.6%		
65歳以上	22.1%	27.6%	27.9%	31.8%	33.8%	34.6%	34.7%	34.0%		
守江	1,915人	2,007人	1,808人	1,733人	1,646人	1,550人	1,460人	1,372人	-9.5%	-20.8%
0-14歳	13.7%	14.6%	10.6%	10.5%	10.5%	10.6%	10.3%	10.7%		
15-64歳	57.8%	57.0%	58.4%	55.4%	52.8%	51.0%	51.4%	49.6%		
65歳以上	28.5%	28.4%	31.0%	34.0%	36.7%	38.5%	38.5%	39.7%		

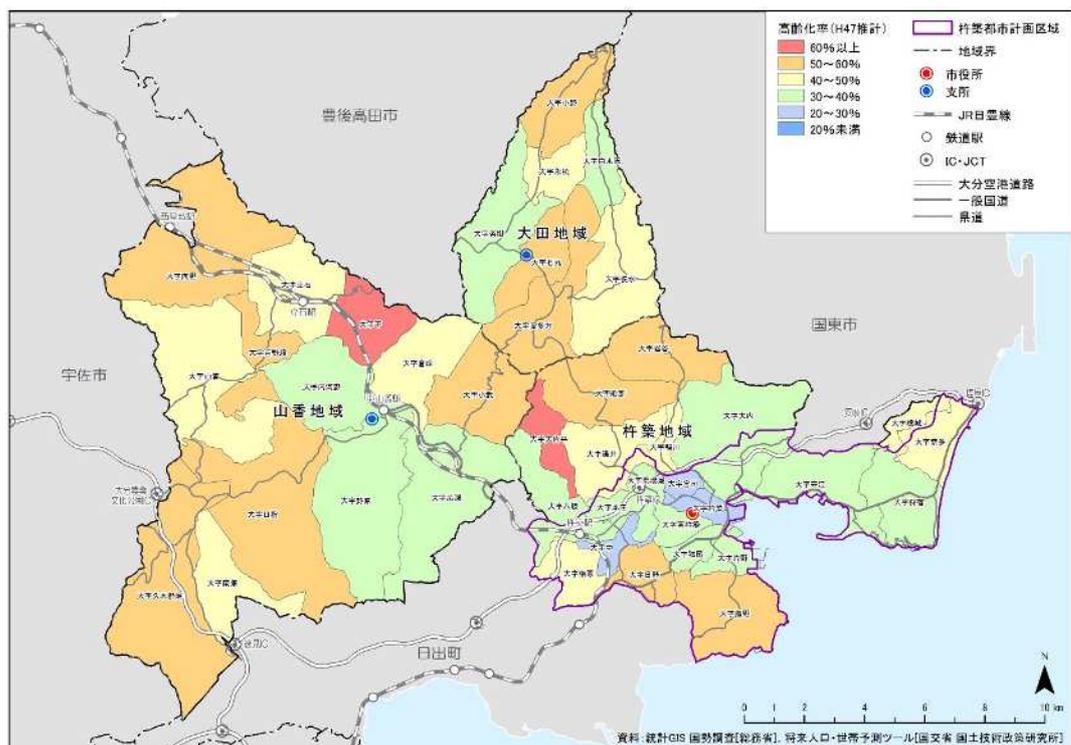
2010年の地区別の高齢化率は、杵築地域の用途地域指定区域内では、高齢化率が20%未満の地区が見られます。JRの駅や路線バスの停留所を有する地区では、高齢化率30~40%の地区が多く、大田地域では、高齢化率が50%以上の地区が見られるなど、公共交通の不便な地区では、高齢化が著しく進んでいます。

2035年の高齢化率は、全体的に上昇することが予測され、用途地域指定区域内においても高齢化率が30~40%となることが予測されています。

■地区別高齢化率（2010）



■地区別高齢化率（2035）



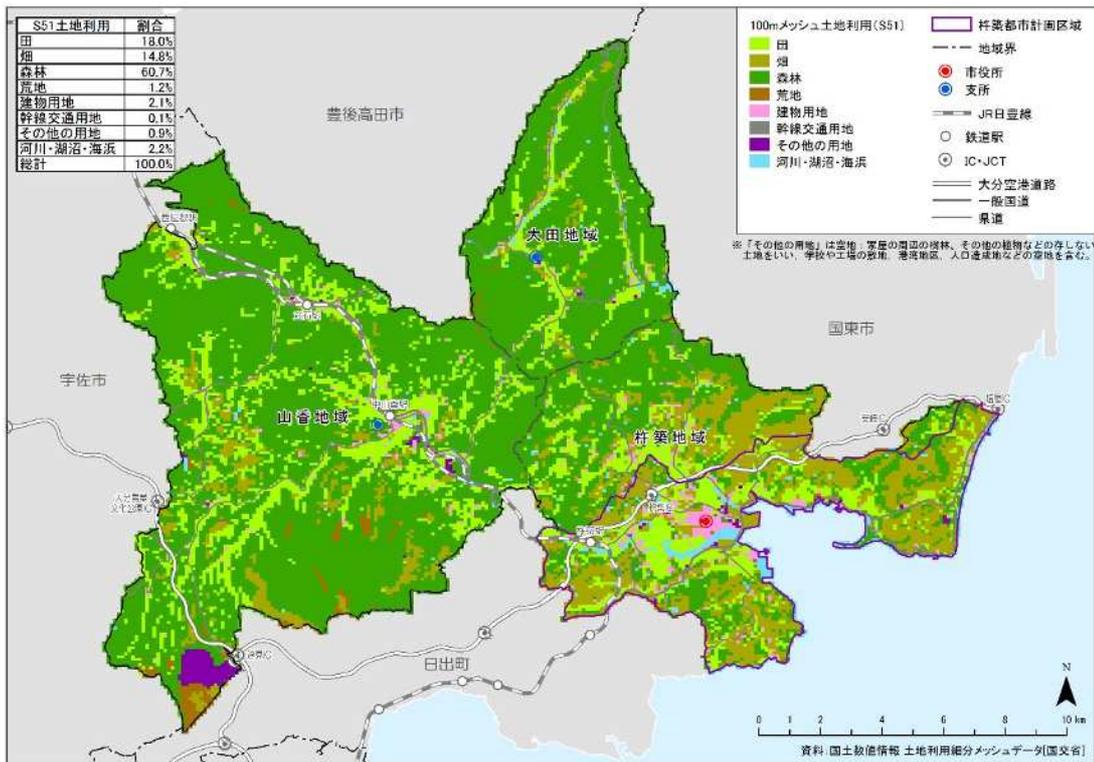
2. 土地利用の動向

(1) 土地利用の推移

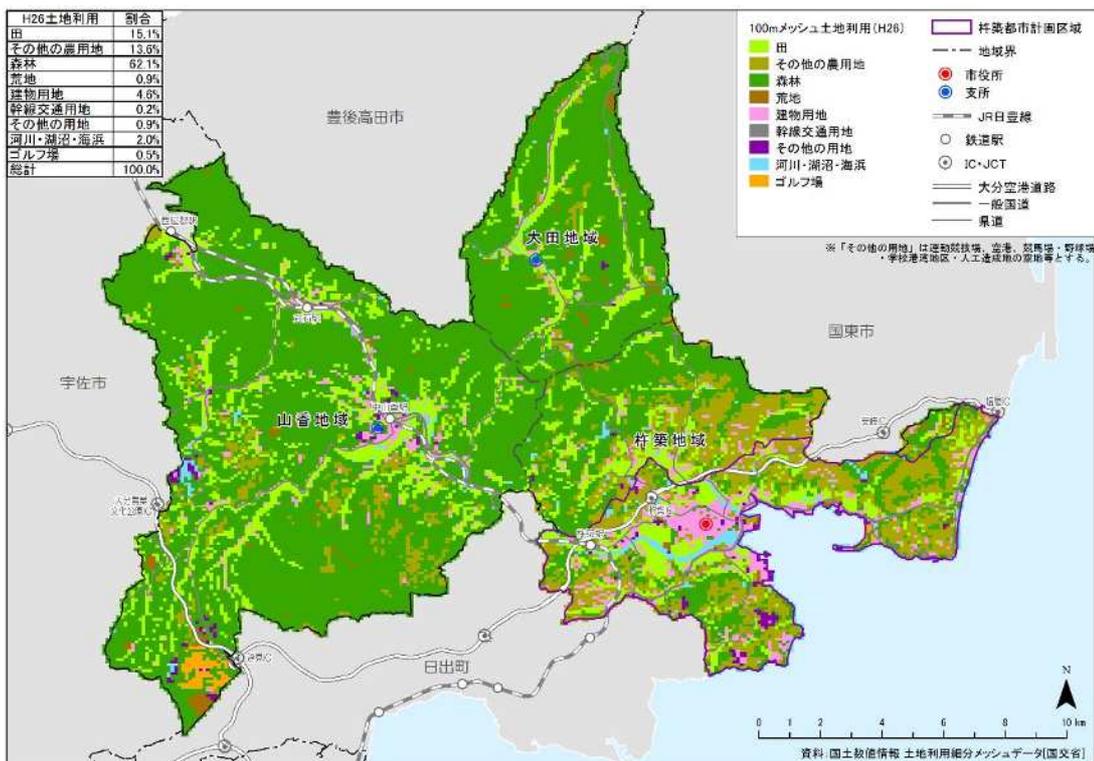
都市計画区域内の土地利用状況は、宅地が14.5%、田畑などの農用地が52.8%、森林が21.9%となっています。

土地利用状況の推移を見ると、建物用地は、1976年から約3倍と大幅に増加しています。特に、海岸部の低湿地を埋め立てた地区で建物用地の拡大が顕著となっています。一方で農用地は、1976年から約1割減少しています。

■土地利用状況図（1976）



■土地利用状況図（2014）

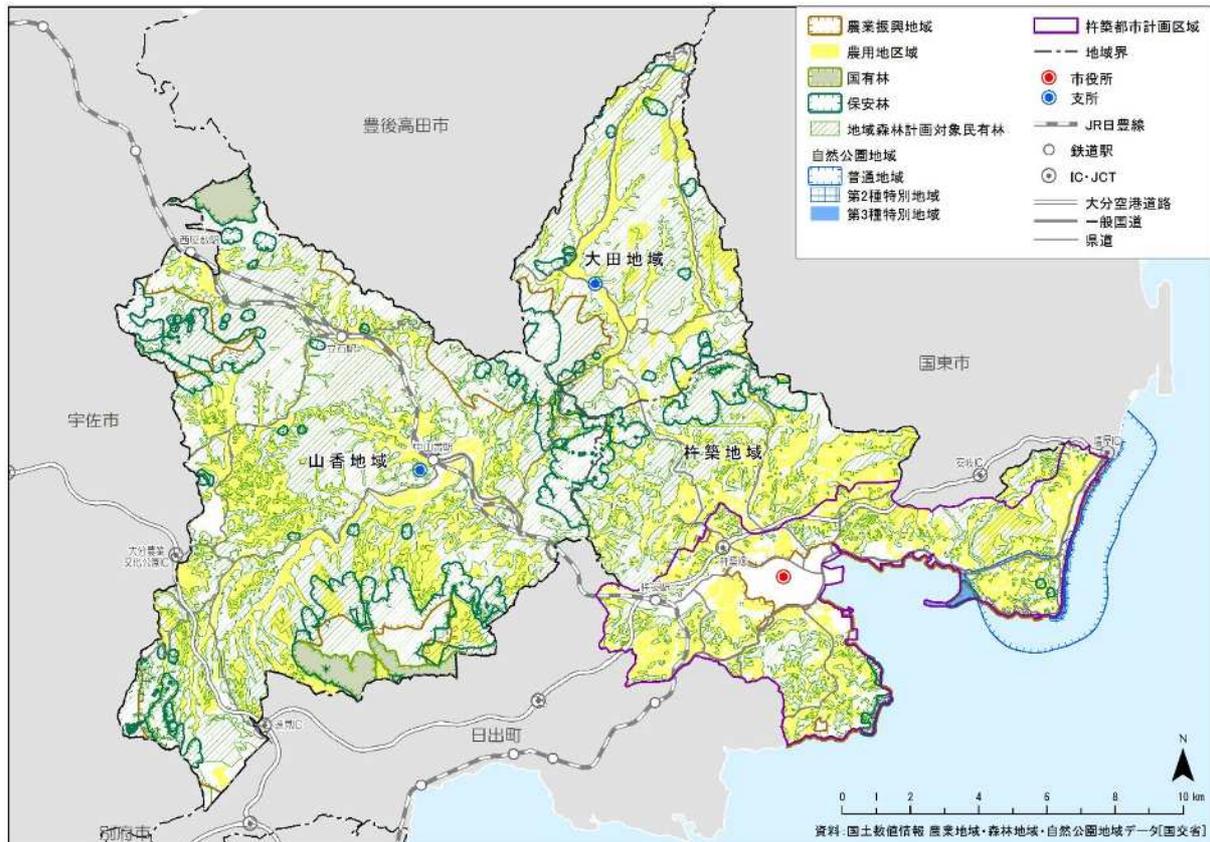


(2) 法適用の状況

市内には、農地、山林などの無秩序な開発を抑制するため、都市計画法や自然公園法、森林法などに基づく法規制が適用されています。

都市計画区域のうち用途の指定のない地域には、農業振興地域の農用地区域が多く指定され、奈多、狩宿には、自然公園地域が指定されています。また、都市計画区域外において、保安林や地域森林計画対象民有林が多く指定されています。

■ 法適用状況図

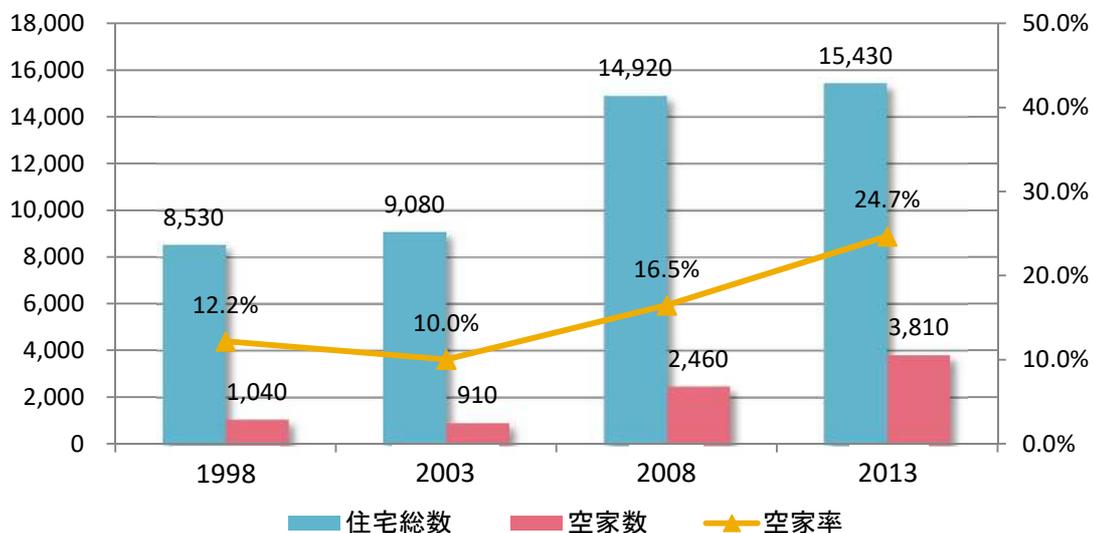


資料：都市計画基礎調査

(3) 住宅及び空き家の動向

2013年時点の空き家数は、3,810戸、総住宅数に占める割合（空き家率）は24.7%で、全国平均13.5%を大きく上回っています。

■住宅総数・空き家数・空き家率の推移

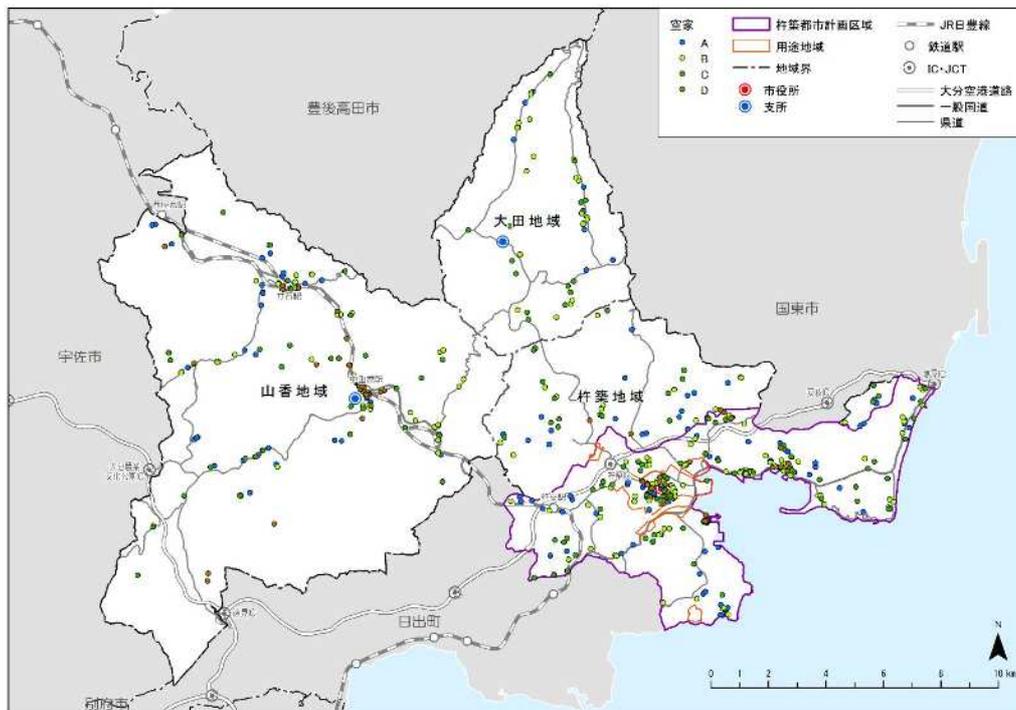


※1998及び2003年は合併前の杵築市のデータ(旧山香町、旧大田村のデータはなし)

資料：住宅土地統計調査

2015年時点の空き家の分布状況は、市役所周辺や守江地区に空き家が集中しています。空き家の活用類型別の分布状況は、一定の修繕を行えば活用可能な空き家が多く分布し、地区別では、市役所周辺に老朽化し活用が難しい空き家が多く分布しています。

■活用類型別空き家の分布状況



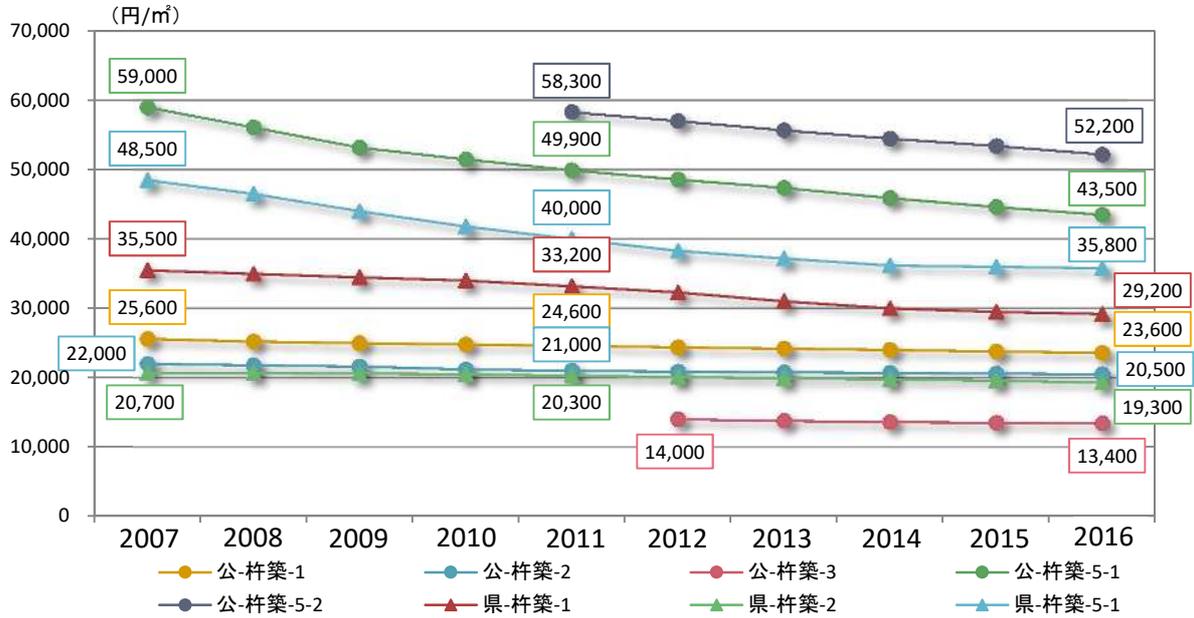
※A:活用可能な空き家 B:一部修繕が必要な空き家 C:修繕が必要な空き家 D:老朽化し活用が難しい空き家

資料：生活環境課調査(2015)

(4) 地価の動向

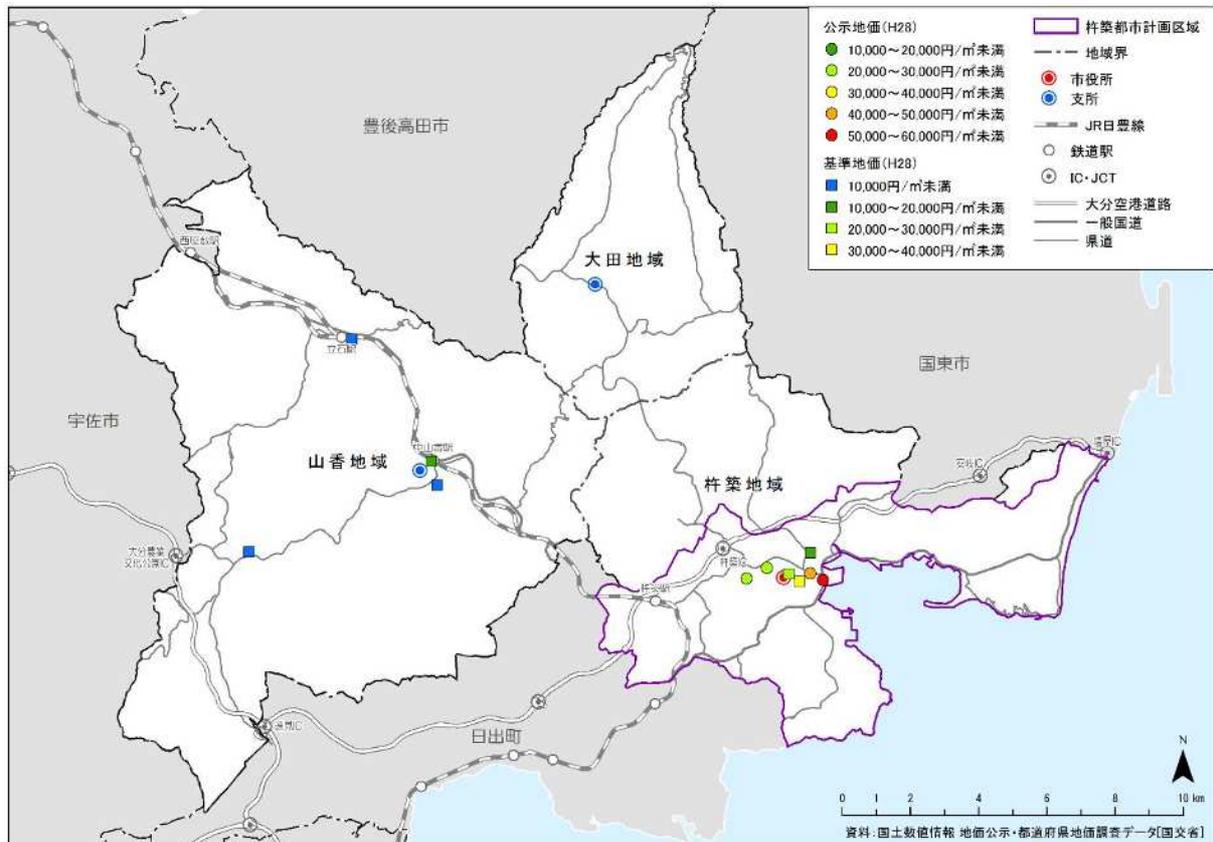
本市の地価は、長期的な下落傾向にあり、どの地点においても過去10年間で下落しています。

■地価の推移



資料：国土交通省地価公示・都道府県地価調査

■地価基準地



3. 交通の動向

(1) 交通の状況

①公共交通の概況

本市の公共交通は、鉄道、路線バス、コミュニティバスを中心に、これを乗合タクシーやスクールバス（混乗）などが補完する形で運行されています。

平日に毎日運行しているのは、鉄道、路線バス及びコミュニティバスの市内循環コースと杵築コース（東線）となっており、その他は週2回、または3回の運行となっています。

■杵築市における公共交通の種類

区分	運行主体	系統・路線・サービス地域
鉄道	九州旅客鉄道(株)	JR日豊本線（杵築駅、中山香駅、立石駅）
路線バス	大分交通(株) 国東観光バス(株)	14系統 22路線 （うち6路線休止中）
コミュニティバス	杵築市（民間に委託）	市内循環コース（大田庁舎～本庁舎～山香庁舎～大田庁舎を結ぶ左回り、右回りの2系統）、山香コース（10系統）、杵築コース（2系統）、大田コース
乗合タクシー	杵築市（民間に委託）	杵築地域（中心市街地を除く全域）
山香中学校スクールバス混乗	杵築市（民間に委託）	向野・立石コース、上コース、山浦コース、田原コース、朝田コース
一般タクシー	杵築国東合同タクシー(株)、三光タクシー、山香タクシー、日出タクシー	

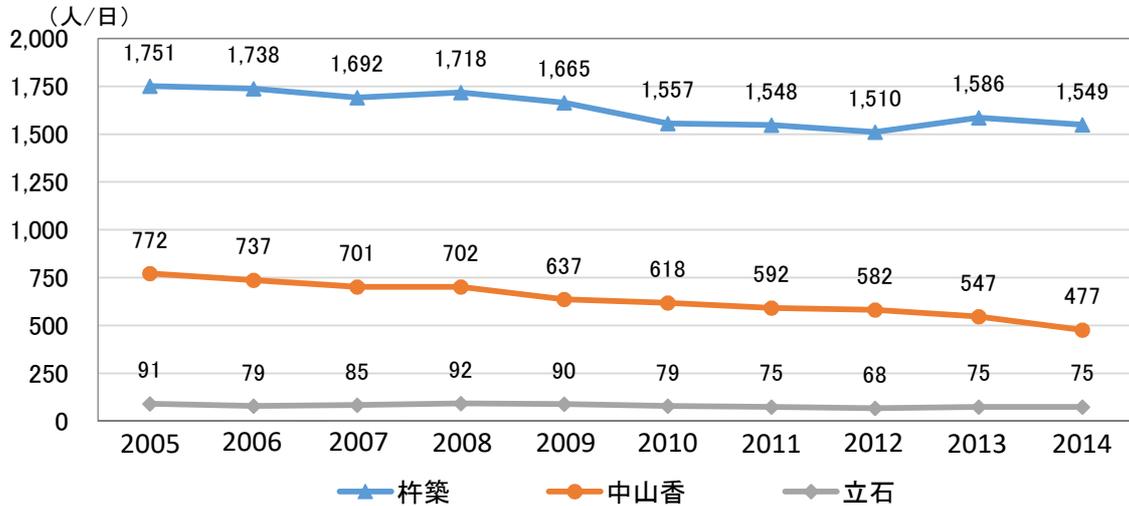
■公共交通の概況図



②鉄道の状況

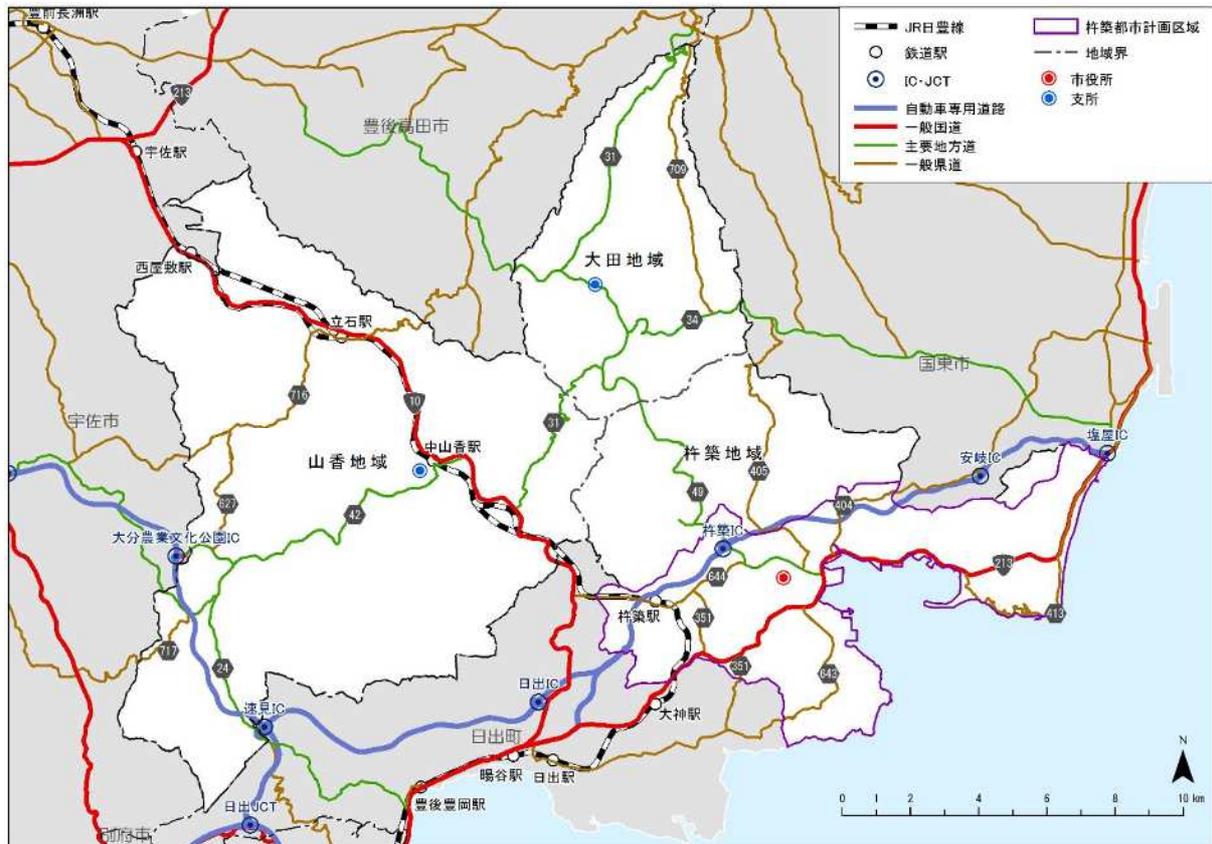
鉄道の利用客数は、全般的に減少傾向となっています。JR 杵築駅は、最近10ヶ年では緩やかな減少傾向にあり、直近5ヶ年では1日平均1,550人前後で推移しています。

■駅別鉄道1日平均乗降人員の推移



資料：JR九州（県統計年鑑）

■鉄道・主要道路状況図



③民間バスの状況

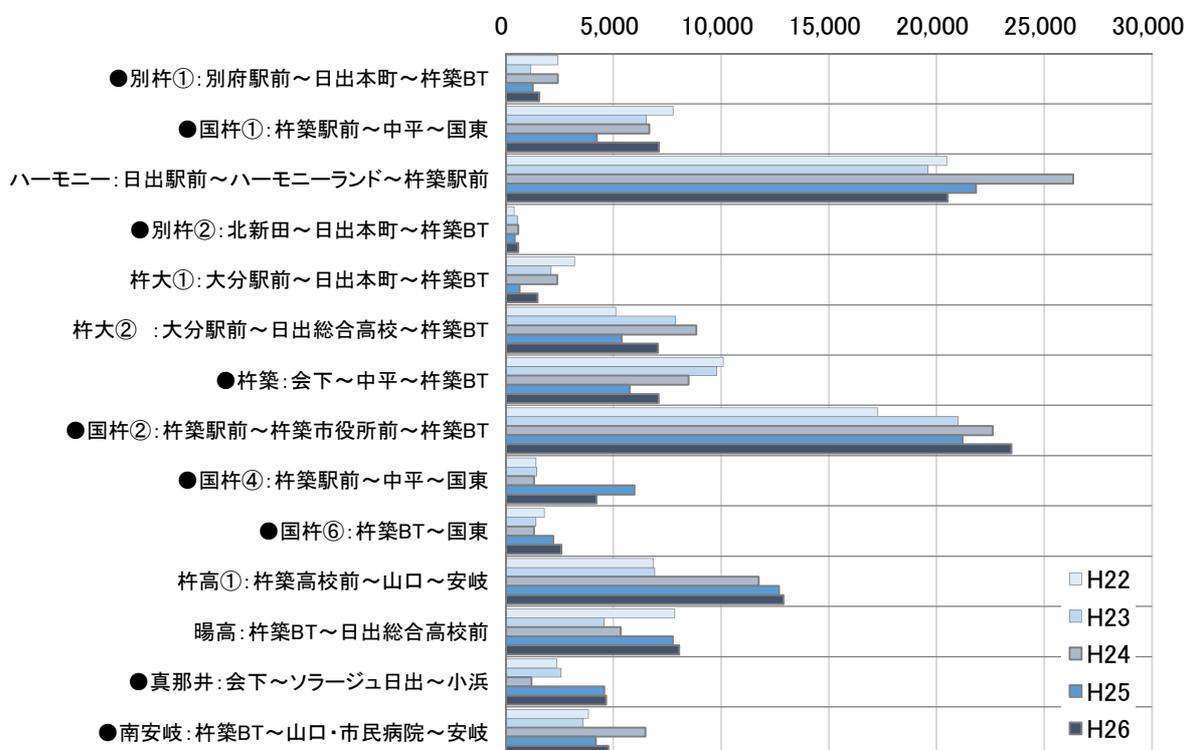
1) 路線バス利用人員

市内を運行する主な路線バスは、国東市と大分市、別府市を結ぶ路線及び JR 杵築駅と杵築バスターミナルを結ぶ路線で、通勤・通学の時間帯には、多くの利用者がいます。

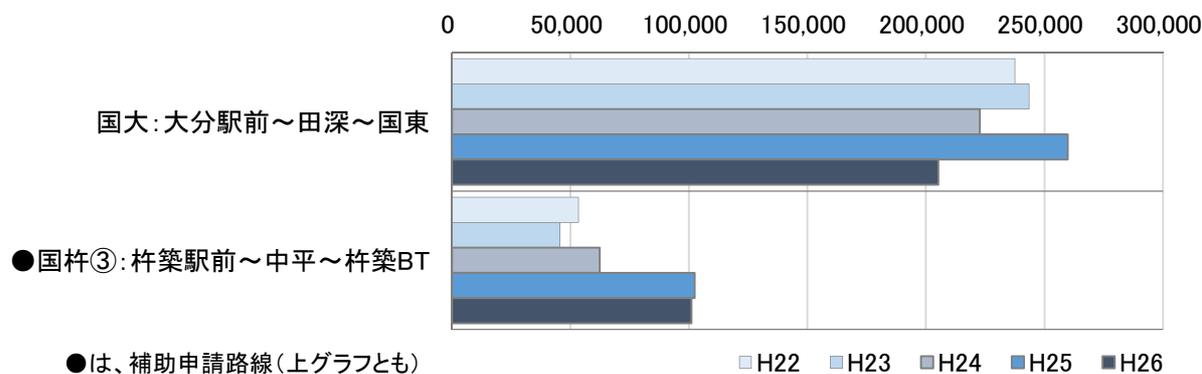
しかし、それ以外の時間帯や郊外部を運行する路線は、国や県と市の補助金を活用して運行していますが、利用者が少なく、今後は、路線の休廃止も予想されます。

上記の路線以外にも大分、別府と大分空港を結ぶ「エアライナー」、中津と大分空港を結ぶ「快速リムジンバス」が運行していますが、「エアライナー」は大分空港道路の杵築インターチェンジ、「快速リムジンバス」は大田庁舎前のみ停車するため、空港利用者以外の一般の乗客はほとんどいない状況です。

■ 路線バス年間輸送人員（10万人未満）



■ 路線バス年間輸送人員（10万人以上）



●は、補助申請路線（上グラフとも）

□ H22 □ H23 □ H24 □ H25 □ H26

■ 民間路線の運行状況

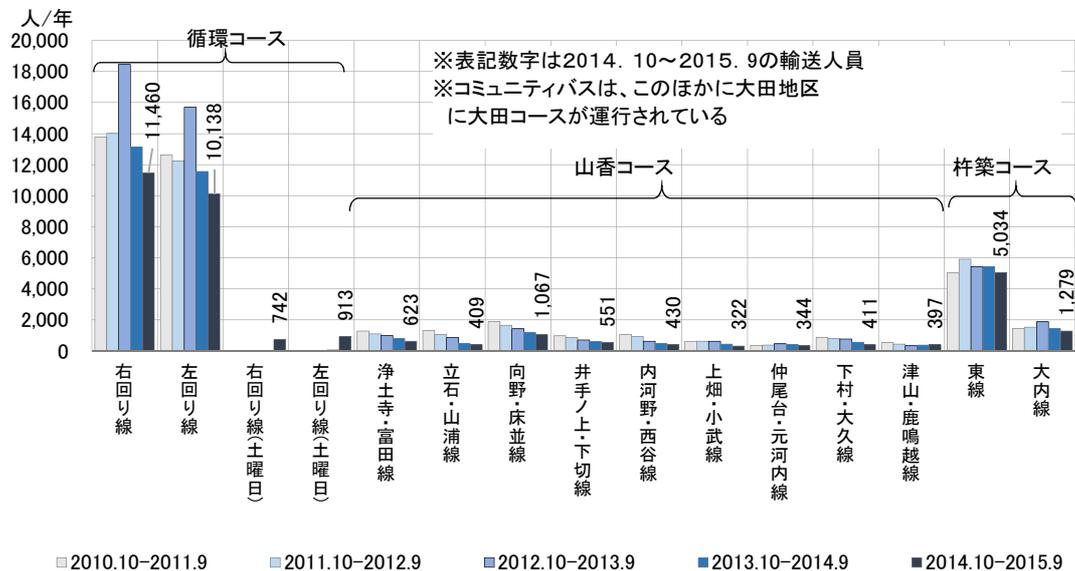


④ コミュニティバスの利用状況

コミュニティバスは、利用実態に合わせて適宜、路線や運行時間の見直しを行っています。経年で比較可能な路線を下表に示します。

平日に毎日運行している循環コースは年間1万人以上、東線も5千人以上が利用しています。週2~3回運行のその他路線は、大内線、向野床並線の約1,000人を除くと、年間数百人の利用となっています。1便あたりの輸送人員も、循環コース、東線が10人を越えているのに対して、その他は5人前後の利用に留まっています。

■ コミュニティバス路線別年間輸送人員の推移



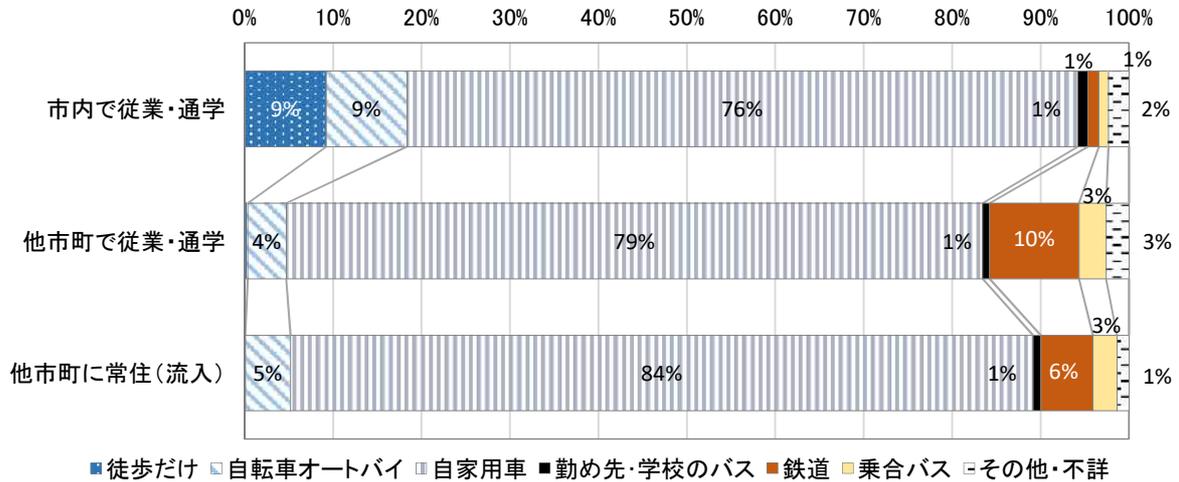
(2) 日常交通行動の状況

①通勤・通学の交通手段

通勤通学の交通手段は、市内、市外を問わず、自家用車の利用が最も多く、いずれも80%前後を示しています。市内では、徒歩、自転車がそれぞれ9%となっています。

鉄道は、市外への通勤通学が10%、市外からの通勤通学が6%となっています。また、乗合バスは、いずれも3%となっています。

■自宅外就業者・通学者の利用交通手段



資料：国勢調査

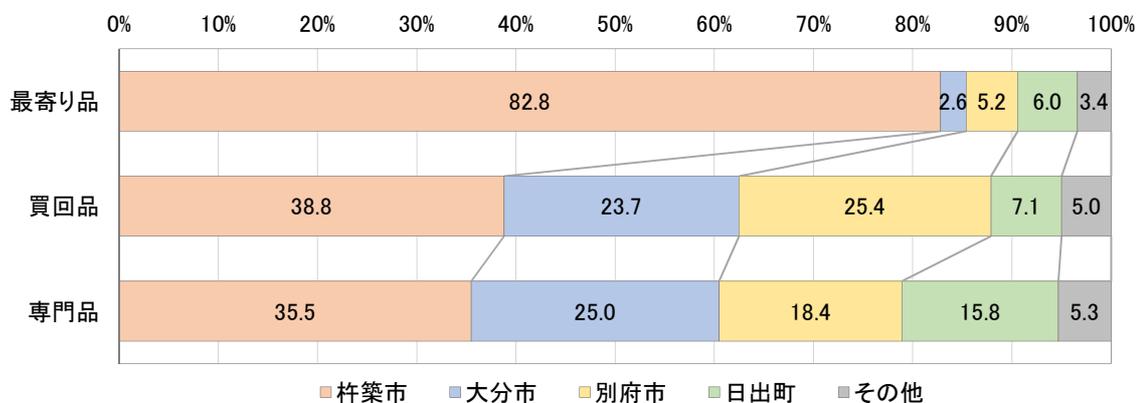
②買物場所

生鮮食品などの最寄り品は、80%以上が市内で買い物をしています。

買回品と専門品は、市内が35%~39%であるのに対して、大分市と別府市の合計が43%~50%、専門品は、日出町を含めると59%と、市外で買い物している傾向が見受けられます。

杵築市に市外から買い物に来るのは、国東市から買回品、専門品がそれぞれ10%となっています。

■品目別買物場所



資料：大分県中心市街地等消費者動向調査（2013）

4. 都市機能の現状分析

(1) 生活利便施設の立地状況

本市には、生活利便施設が立地し、その総数は、501件となっています。

■生活利便施設及び交通施設の立地件数（2016年度）

都市機能	生活サービス関連施設			立地件数				
				都市計画 区域	都市計画区域外			
					杵築地域	山香地域	大田地域	
商業	最寄品店 【日用品店】 (うち大規模小売店舗※)	生鮮三品 取扱店	スーパーマーケット	7 (4)		2 (2)		
			個店	4		5		
		小計			11 (4)		7 (2)	
		コンビニエンスストア			9		1	
		ドラッグストア			2 (2)			
		その他の最寄品店			57	2	26	2
	買回品店【家電量販店、ホームセンター、衣料品店等】			46 (4)		19 (2)	3	
飲食店【外食店】			79		18	2		
計			204	2	71	7		
医療	病院	一般病院	うち救急指定病院	1 (1)		2 (1)		
			うち内科	(1)		(2)		
		精神科病院		1				
	小計			1	1	2		
	一般診療所 (うち内科を有する診療所)			12 (7)		4 (4)	1 (1)	
歯科診療所			7		2			
計			20	1	8	1		
福祉 (高齢者)	通所系福祉施設	適所介護事業所(デイサービス)		7	1	2	1	
	訪問系福祉施設	在宅介護支援センター		1	1			
	入所系福祉施設	短期入所生活介護		2		1	1	
		有料老人ホーム		4	1	2	1	
		養護老人ホーム(一般)				1	0	
計			14	3	6	3		
福祉 (障がい者)	通所系福祉施設	地域活動支援センター(デイサービス)		1				
	入所系福祉施設	障害者支援施設		1				
計			2	0	0	0		
子育て	保育所(うち認定こども園)			5 (3)		4 (3)	1 (1)	
	幼稚園(うち認定こども園)			8 (1)	1	3 (3)	1 (1)	
	子育て支援センター			2		1		
	児童館・児童遊園			2		1		
計			17	1	9	2		
教育	小学校			6	1	3	1	
	中学校			2		1		
	高等学校			1				
	計			9	1	4	1	
防災防犯	避難所	一次避難所		7		139 *	17 *	
		二次避難所		64	19			
	消防署、消防分署			1		1		
	警察署、交番			2		3	1	
	計			74	19	143	18	
地域経済 関連 (上記以外 部分)	郵便局			7	1	6	2	
	金融機関	店舗		4		3		
		ATMのみ		3				
	ガソリンスタンド			13		3	1	
計			27	1	12	3		

※大規模小売店舗:大規模小売店舗立地法による建物内の店舗面積の合計が1,000㎡を超える店舗。

* 山香地域、大田地域は、国土数値情報に記載がないため、風水害避難場所件数を表示。

都市機能	生活利便施設	立地件数				
		都市計画 区域	都市計画区域外			
			杵築地域	山香地域	大田地域	
行政	本庁・支所	1		1	1	
	地区公民館	5	1	5	1	
	図書館・図書室	1		1		
	文化施設(文化会館・歴史資料館・観光文化施設)	3				
	スポーツ施設	11		14	3	
	都市公園	20				
	計	41	1	21	5	
交通	鉄道駅	1		2		
	バス停留所等	民営バスターミナル・停留所	58	1	3	1
		コミュニティバス停留所	38	16	139	21
	小計	96	17	142	22	
	計	97	17	144	22	
生活サービス関連施設 合計		505	46	418	62	

資料：項目毎に以下の資料（2017年2月現在）の情報を収集して集計。

【商業】iタウンページ（NTTタウンページ㈱）、大規模小売店舗立地法届出状況一覧（大分県）

【医療】国土数値情報 医療機関データ（国交省）

【福祉・子育て】国土数値情報 福祉施設データ、まつき子育てガイドブック（杵築市）

【教育】国土数値情報 学校データ

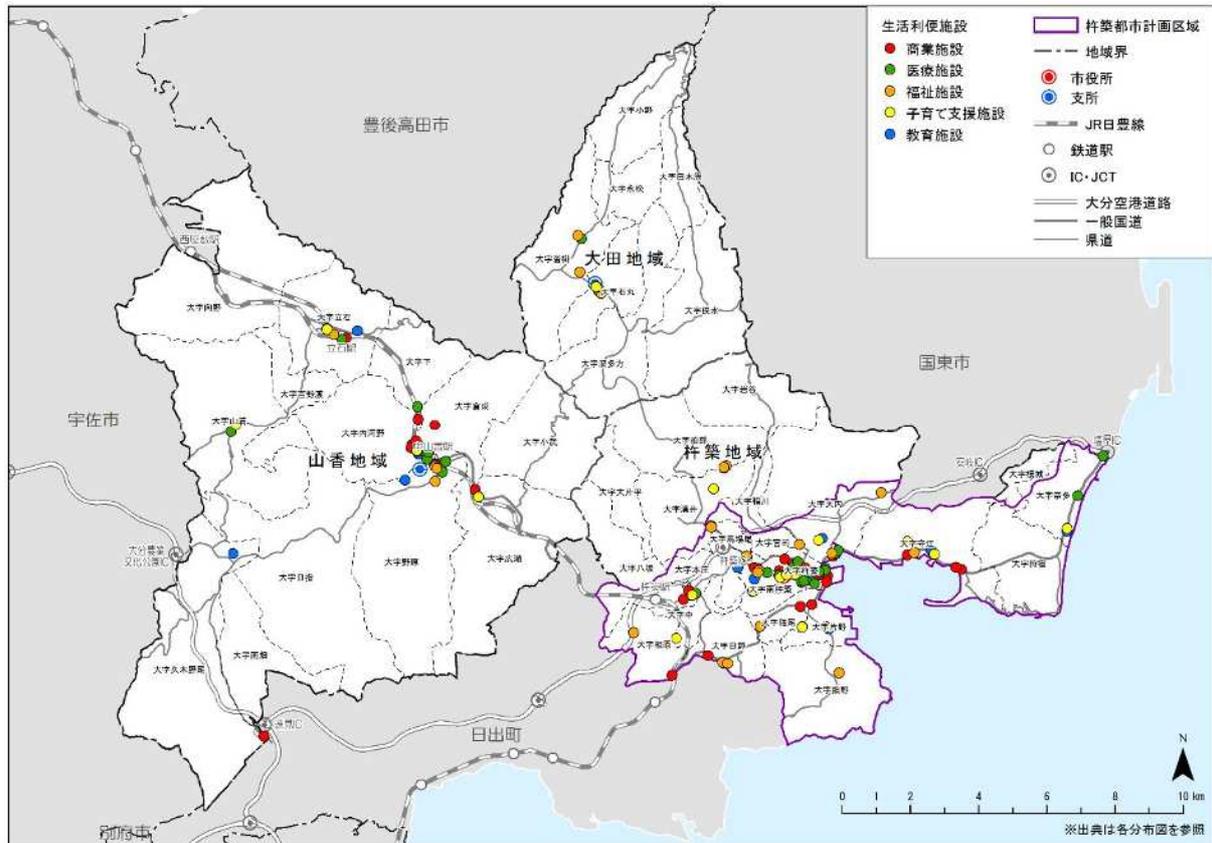
【防災防犯】国土数値情報 消防署・警察署・避難施設データ・風水害避難場所(山香地域、大田地域)

【地域経済関連】iタウンページ、施設HP、国土数値情報 燃料給油所データ

【行政】国土数値情報 行政機関・文化施設・都市公園データ、県内公立公民館一覧（大分県立社会教育総合センター）

【交通】国土数値情報 鉄道・バスルート・バス停留所データ、バスなび大分（(社)大分県バス協会）、コミュニティバス時刻表（杵築市）

■生活利便施設位置図



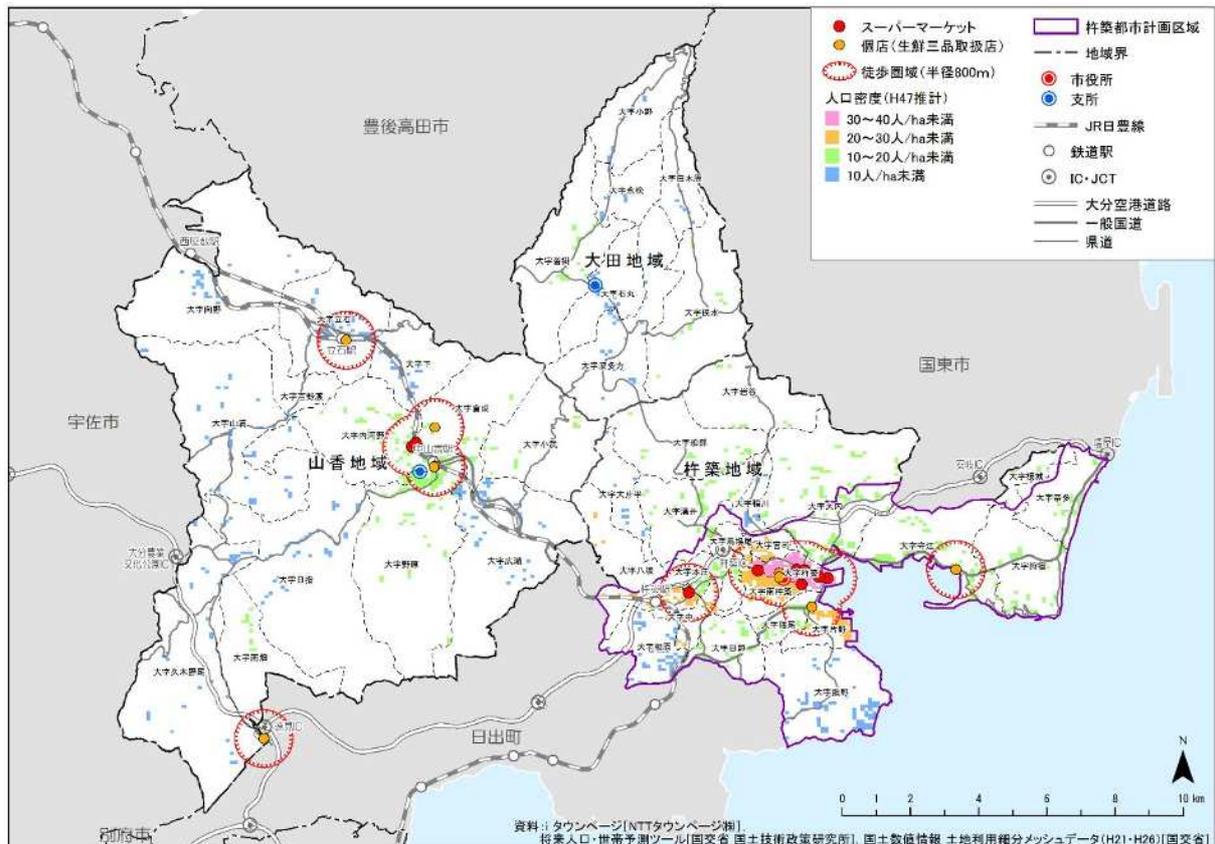
(2) 生活利便施設の徒歩圏人口密度の将来見通し

① 生鮮産品取扱店の徒歩圏域の人口密度

生鮮三品取扱店の総数は11店舗で、そのうちスーパーマーケットは7店舗、生鮮三品を取り扱う店舗は4店舗です。2016年の施設が2035年でも立地している場合、徒歩圏人口カバー率の高い地区は、杵築バスターミナル周辺に限られ、その他の地区のカバー率は低く、利便性が低くなることが見込まれています。

生鮮三品取扱店の徒歩圏人口密度には、杵築及び南杵築で20人/haを超えるものの全体的に人口密度は低く、将来的にも全ての地区で徒歩圏人口密度の低下が見込まれています。

■ 徒歩圏人口密度及びカバー率（2035）



生鮮三品取扱店 徒歩圏域の人口密度

地区名		徒歩圏人口密度(人/ha)		立地件数	徒歩圏人口 カバー率(2035)	
		2010	2035			
都市計画区域	杵築地域	杵築	24.7	23.1	6	100.0%
		南杵築	24.4	20.2	2	93.0%
		宮司	9.5	8.8	-	73.7%
		馬場尾	13.0	10.6	-	54.5%
		大内	8.0	5.8	-	28.0%
		猪尾	5.4	4.4	1	57.9%
		片野	11.0	8.7	-	44.7%
		熊野	-	-	-	0.0%
		本庄	3.7	2.8	-	59.5%
		八坂	11.0	8.5	1	58.5%
		相原	-	-	-	0.0%
		中	4.2	3.4	-	43.8%
		日野	-	-	-	0.0%
		鴨川	-	-	-	-
		溝井	-	-	-	0.0%
		横城	-	-	-	-
		奈多	-	-	-	0.0%
		狩宿	-	-	-	0.0%
		守江	4.2	3.2	1	28.6%
	都市計画区域合計		12.8	11.0	11	59.4%
都市計画区域外	杵築地域	宮司	-	-	-	-
		馬場尾	-	-	-	-
		大内	-	-	-	0.0%
		本庄	-	-	-	-
		八坂	-	-	-	0.0%
		鴨川	-	-	-	0.0%
		岩谷	-	-	-	0.0%
		溝井	-	-	-	0.0%
		船部	-	-	-	0.0%
		大方平	-	-	-	0.0%
		横城	-	-	-	0.0%
		奈多	-	-	-	-
		山香地域	内河野	3.2	2.5	2
	野原		10.3	7.3	2	58.3%
	倉成		1.0	0.7	1	33.3%
	小武		-	-	-	0.0%
	広瀬		-	-	-	0.0%
	日指		-	-	-	0.0%
	久木野尾		0.2	0.1	1	2.4%
	南畑		-	-	-	0.0%
	山浦		-	-	-	0.0%
	吉野渡		-	-	-	0.0%
	向野		-	-	-	0.0%
	大田地域	立石	3.2	2.2	1	76.8%
		下	-	-	-	0.0%
		大田小野	-	-	-	0.0%
		大田永松	-	-	-	0.0%
		大田杏掛	-	-	-	0.0%
		大田石丸	-	-	-	0.0%
大田白木原		-	-	-	0.0%	
大田波多方	-	-	-	0.0%		
大田俣水	-	-	-	0.0%		
都市計画区域外合計		3.7	2.7	7	24.0%	
合計		8.8	7.3	18	48.0%	

※徒歩圏は、施設から800m圏内

※徒歩圏人口密度は、(徒歩圏内人口)÷(徒歩圏面積)で算定

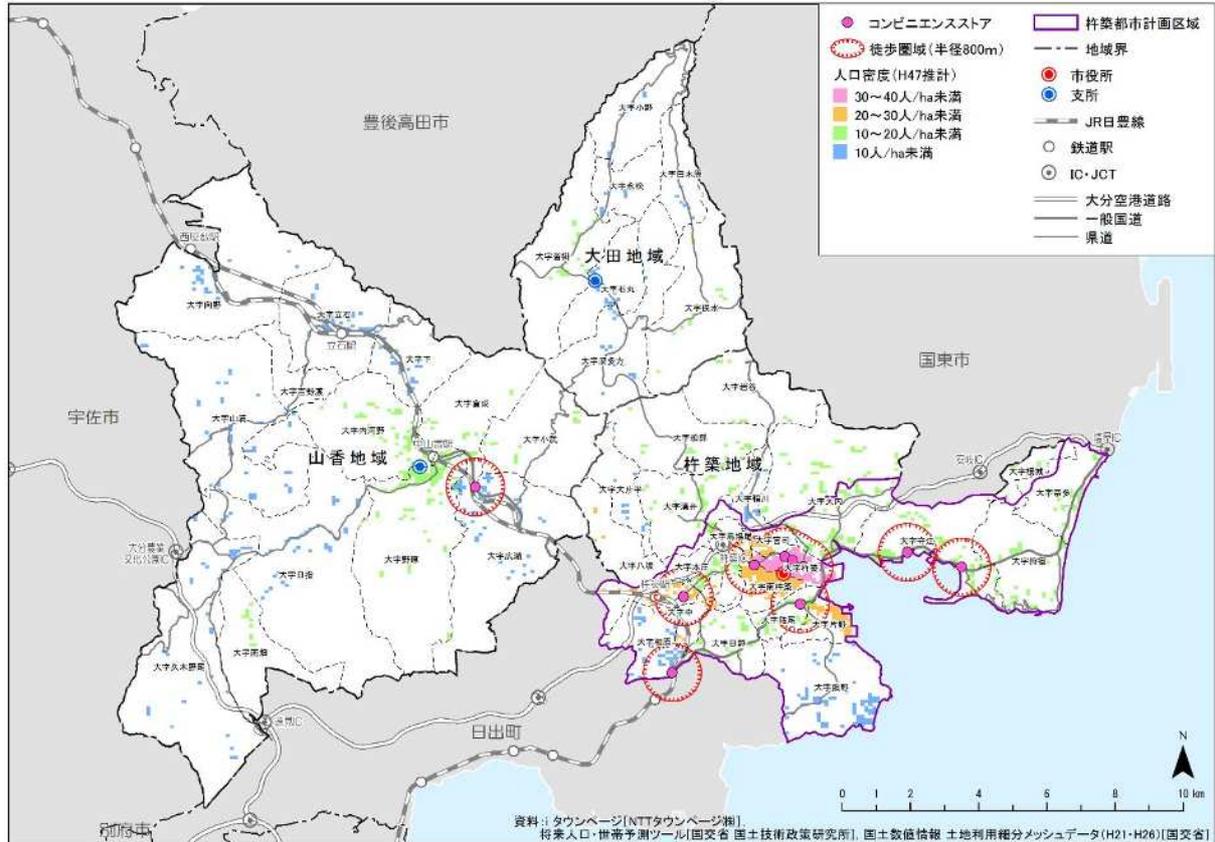
※徒歩圏人口カバー率は、(字別徒歩圏内人口)÷(字人口)で算定

②コンビニエンスストアの徒歩圏域の人口密度

コンビニエンスストアの総数は9店舗で、主に杵築バスターミナル周辺の県道49号線や国道213号線沿いに立地している。特に、県道49号線に近接して立地している。

2035年時点で徒歩圏人口カバー率が8割を超えることが見込まれる地区は、杵築、南杵築、宮司であり、5割を超える地区は9地区あります。しかし、人口密度20人/haを超える杵築、南杵築を除く地区は、将来的にも徒歩圏人口密度が低く、全ての地区において将来的に徒歩圏人口密度の低下が見込まれています。

■徒歩圏人口密度及びカバー率（2035）



コンビニエンスストア 徒歩圏域の人口密度

地区名		徒歩圏人口密度(人/ha)		立地件数	徒歩圏人口 カバー率(2035)	
		2010	2035			
都市計画区域	杵築地域	杵築	27.2	25.4	3	94.8%
		南杵築	23.6	19.6	1	86.0%
		宮司	7.7	7.2	-	84.2%
		馬場尾	14.3	11.7	-	72.7%
		大内	6.1	4.5	-	16.0%
		猪尾	4.5	3.7	1	65.8%
		片野	8.8	7.0	-	25.5%
		熊野	-	-	-	0.0%
		本庄	4.2	3.2	-	48.6%
		八坂	10.8	8.4	1	65.9%
		相原	2.7	2.0	1	42.3%
		中	3.3	2.8	-	43.8%
		日野	2.4	1.4	-	3.2%
		鴨川	-	-	-	-
		溝井	-	-	-	0.0%
		横城	-	-	-	-
		奈多	-	-	-	0.0%
		狩宿	2.1	1.6	-	2.9%
		守江	4.3	3.3	2	58.2%
都市計画区域合計		10.5	8.9	9	59.4%	
都市計画区域外	杵築地域	宮司	-	-	-	-
		馬場尾	-	-	-	-
		大内	-	-	-	0.0%
		本庄	-	-	-	-
		八坂	-	-	-	0.0%
		鴨川	-	-	-	0.0%
		岩谷	-	-	-	0.0%
		溝井	-	-	-	0.0%
		船部	-	-	-	0.0%
		大方平	-	-	-	0.0%
		横城	-	-	-	0.0%
		奈多	-	-	-	-
	山香地域	内河野	-	-	-	0.0%
		野原	3.0	2.1	-	4.2%
		倉成	1.7	1.1	-	9.5%
		小武	1.9	1.0	-	7.1%
		広瀬	2.9	1.9	1	51.9%
		日指	-	-	-	0.0%
		久木野尾	-	-	-	0.0%
		南畑	-	-	-	0.0%
		山浦	-	-	-	0.0%
		吉野渡	-	-	-	0.0%
		向野	-	-	-	0.0%
	立石	-	-	-	0.0%	
	下	-	-	-	0.0%	
	大田地域	大田小野	-	-	-	0.0%
		大田永松	-	-	-	0.0%
		大田杏掛	-	-	-	0.0%
		大田石丸	-	-	-	0.0%
大田白木原		-	-	-	0.0%	
大田波多方		-	-	-	0.0%	
大田俣水		-	-	-	0.0%	
都市計画区域外合計		2.7	1.8	1	4.4%	
合計		9.3	7.9	10	41.7%	

※徒歩圏は、施設から800m圏内

※徒歩圏人口密度は、(徒歩圏内人口)÷(徒歩圏面積)で算定

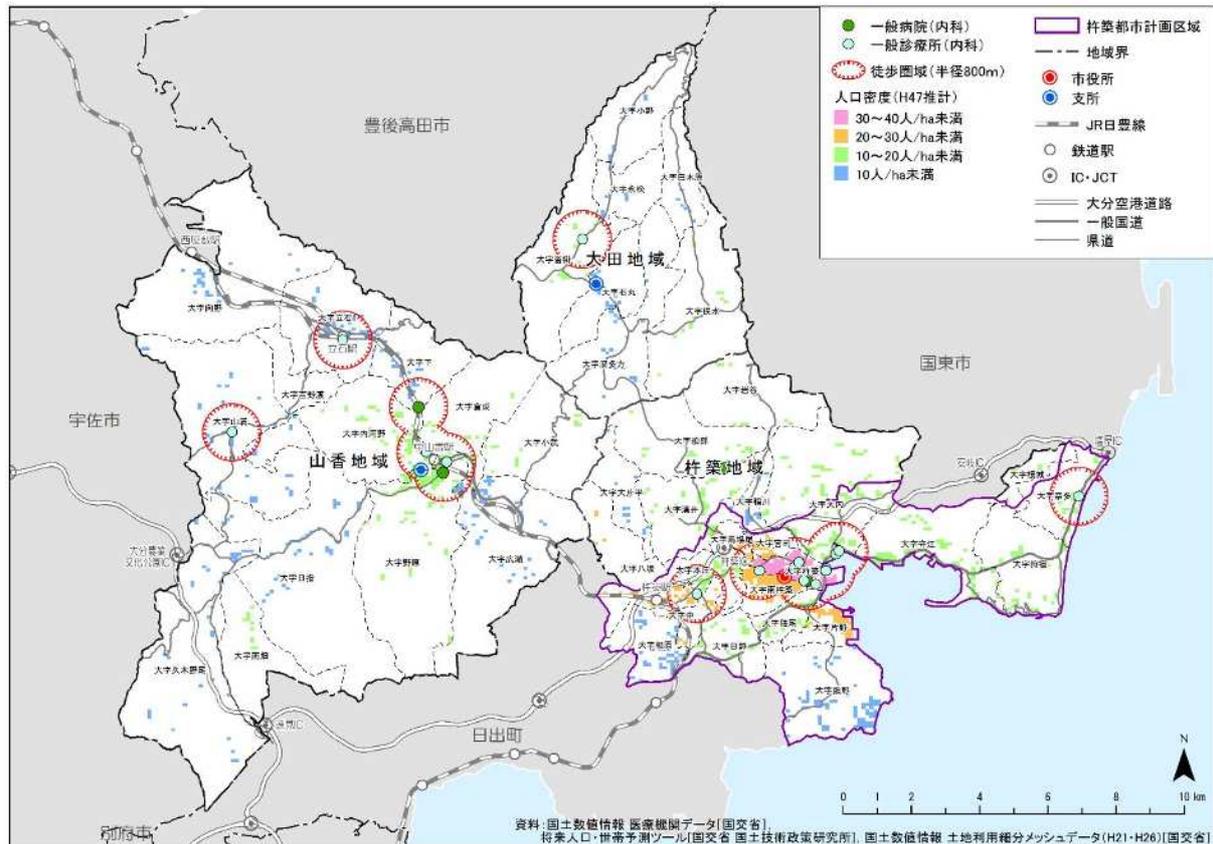
※徒歩圏人口カバー率は、(字別徒歩圏内人口)÷(字人口)で算定

③内科医療施設の徒歩圏域の人口密度

内科の一般病院、一般診療所の総数は8施設で、複数の内科医療施設が立地する地区は、杵築、大内、内河野、野原の4地区です。

2035年時点で徒歩圏人口カバー率が8割を超えることが見込まれる地区は、杵築、南杵築の2地区あり、5割を超える地区は11地区あります。しかし、人口密度20人/haを超える杵築、南杵築を除く地区で徒歩圏人口密度の低下が見込まれています。

■徒歩圏人口密度及びカバー率（2035）



内科医療施設 徒歩圏域の人口密度

地区名		徒歩圏人口密度(人/ha)		立地件数	徒歩圏人口 カバー率(2035)	
		2010	2035			
都市計画区域	杵築地域	杵築	24.7	23.1	3	100.0%
		南杵築	25.9	21.4	1	88.0%
		宮司	9.7	9.0	-	68.4%
		馬場尾	15.2	12.4	-	54.5%
		大内	6.5	4.7	2	60.0%
		猪尾	4.9	4.0	-	26.3%
		片野	-	-	-	0.0%
		熊野	-	-	-	0.0%
		本庄	3.9	3.0	-	59.5%
		八坂	10.6	8.2	1	43.9%
		相原	-	-	-	0.0%
		中	4.1	3.4	-	56.3%
		日野	-	-	-	0.0%
		鴨川	-	-	-	-
		溝井	-	-	-	0.0%
		横城	-	-	-	-
		奈多	3.2	2.4	1	67.9%
		狩宿	-	-	-	0.0%
		守江	2.2	1.7	-	1.1%
	都市計画区域合計		12.2	10.5	8	55.0%
都市計画区域外	杵築地域	宮司	-	-	-	-
		馬場尾	-	-	-	-
		大内	-	-	-	0.0%
		本庄	-	-	-	-
		八坂	-	-	-	0.0%
		鴨川	-	-	-	0.0%
		岩谷	-	-	-	0.0%
		溝井	-	-	-	0.0%
		船部	-	-	-	0.0%
		大方平	-	-	-	0.0%
		横城	-	-	-	0.0%
		奈多	-	-	-	-
		山香地域	内河野	3.6	2.8	2
	野原		9.0	6.4	2	60.4%
	倉成		1.8	1.2	-	52.4%
	小武		-	-	-	0.0%
	広瀬		6.8	4.6	-	11.1%
	日指		-	-	-	0.0%
	久木野尾		-	-	-	0.0%
	南畑		-	-	-	0.0%
	山浦		0.9	0.6	1	30.2%
	吉野渡		-	-	-	0.0%
	向野		-	-	-	0.0%
	大田地域	立石	2.9	2.1	1	71.4%
		下	1.2	0.5	-	30.4%
		大田小野	-	-	-	0.0%
		大田永松	-	-	-	0.0%
		大田杏掛	1.1	0.6	1	50.0%
		大田石丸	-	-	-	0.0%
		大田白木原	-	-	-	0.0%
大田波多方	-	-	-	0.0%		
大田俣水	-	-	-	0.0%		
都市計画区域外合計		3.0	2.1	7	28.5%	
合計		7.1	5.8	15	46.5%	

※徒歩圏は、施設から800m圏内

※徒歩圏人口密度は、(徒歩圏内人口)÷(徒歩圏面積)で算定

※徒歩圏人口カバー率は、(字別徒歩圏内人口)÷(字人口)で算定

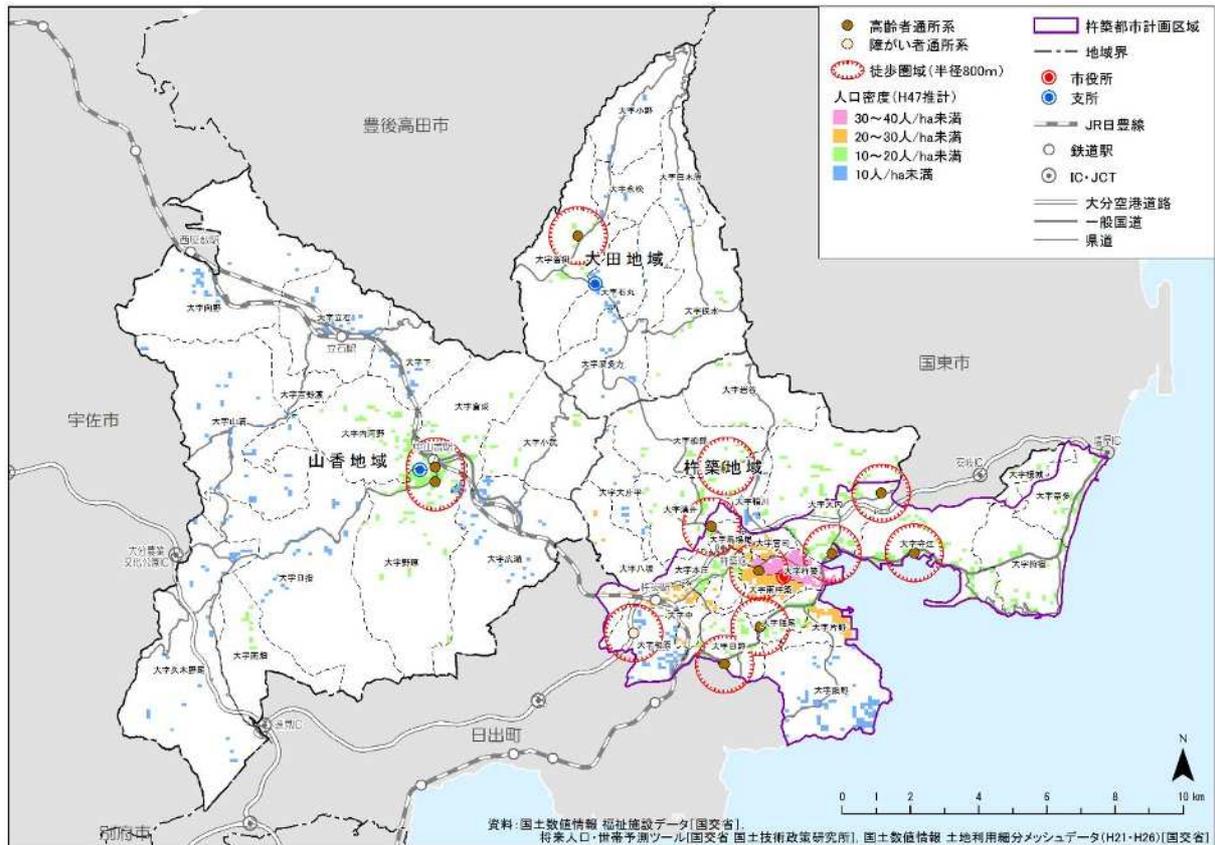
④通所系福祉施設の徒歩圏域の人口密度

通所系福祉施設の総数は、12施設で、そのうち高齢者通所系施設が11施設、障がい者通所系施設が1施設です。

都市計画区域内では片野、熊野、奈多と狩宿を除いて、他の生活利便施設に比べて分散した立地となっています。

2035年時点で徒歩圏人口カバー率が8割を超える地区は溝井のみで、5割を超える地区は6地区です。しかし、杵築を除く地区で徒歩圏人口密度の低下が見込まれています。

■徒歩圏人口密度及びカバー率（2035）



通所系福祉施設 徒歩圏域の人口密度

地区名		徒歩圏人口密度(人/ha)		立地件数	徒歩圏人口 カバー率(2035)	
		2010	2035			
都市計画区域	杵築地域	杵築	22.2	20.7	-	45.2%
		南杵築	15.8	13.1	1	70.0%
		宮司	16.8	15.7	-	68.4%
		馬場尾	4.9	4.0	-	63.6%
		大内	5.4	4.0	2	77.3%
		猪尾	3.4	2.8	1	39.5%
		片野	-	-	-	0.0%
		熊野	-	-	-	0.0%
		本庄	5.3	4.1	-	18.9%
		八坂	-	-	-	0.0%
		相原	0.9	0.7	1	26.9%
		中	-	-	-	0.0%
		日野	2.8	1.6	1	71.0%
		鴨川	-	-	-	-
		溝井	3.0	1.9	1	100.0%
		横城	-	-	-	-
		奈多	-	-	-	0.0%
		狩宿	-	-	-	0.0%
		守江	3.8	2.9	1	31.9%
		都市計画区域合計		6.6	5.4	8
都市計画区域外	杵築地域	宮司	-	-	-	-
		馬場尾	-	-	-	-
		大内	1.2	0.9	-	7.7%
		本庄	-	-	-	-
		八坂	-	-	-	0.0%
		鴨川	7.1	4.8	-	8.7%
		岩谷	-	-	-	0.0%
		溝井	1.5	0.9	-	40.0%
		船部	1.9	1.1	1	45.5%
		大方平	-	-	-	0.0%
		横城	-	-	-	0.0%
		奈多	-	-	-	-
		山香地域	内河野	5.7	4.4	-
	野原		8.3	5.9	2	69.8%
	倉成		1.2	0.8	-	4.8%
	小武		-	-	-	0.0%
	広瀬		10.7	7.2	-	11.1%
	日指		-	-	-	0.0%
	久木野尾		-	-	-	0.0%
	南畑		-	-	-	0.0%
	山浦		-	-	-	0.0%
	吉野渡		-	-	-	0.0%
	向野		-	-	-	0.0%
	立石		-	-	-	0.0%
	下	-	-	-	0.0%	
	大田地域	大田小野	-	-	-	0.0%
		大田永松	-	-	-	0.0%
		大田杏掛	1.1	0.6	1	50.0%
		大田石丸	-	-	-	0.0%
		大田白木原	-	-	-	0.0%
		大田波多方	-	-	-	0.0%
		大田俣水	-	-	-	0.0%
都市計画区域外合計		3.5	2.4	4	23.2%	
合計		5.4	4.2	12	33.9%	

※徒歩圏は、施設から800m圏内

※徒歩圏人口密度は、(徒歩圏内人口)÷(徒歩圏面積)で算定

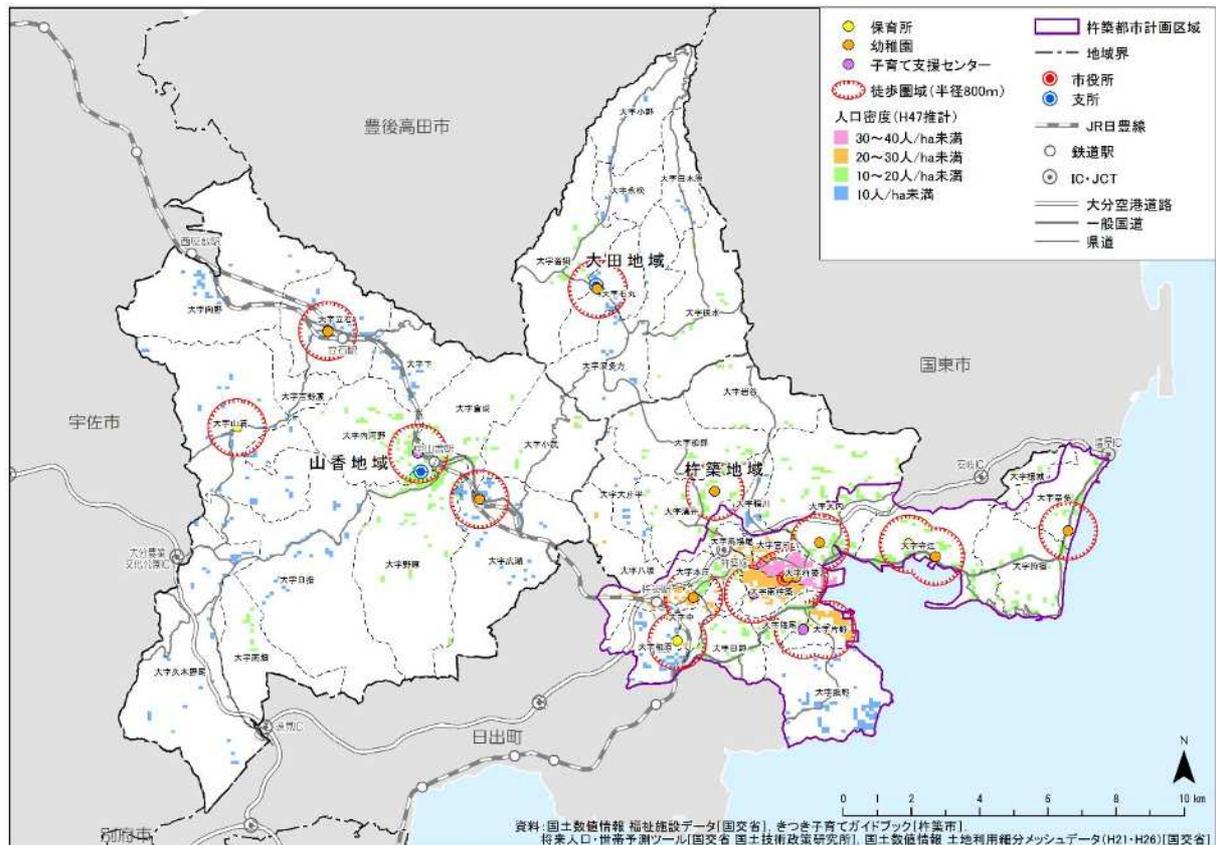
※徒歩圏人口カバー率は、(字別徒歩圏内人口)÷(字人口)で算定

⑤子育て施設の徒歩圏域の人口密度

子育て施設の総数は17施設で、そのうち保育所が5施設、幼稚園が8施設、子育て支援センターが2施設、児童館・児童遊園が2施設となっており、一定の人口密度を有する地区や国道213号沿道に立地しています。

2035年時点において徒歩圏人口カバー率が8割を超える地区は杵築、南杵築、片野、中及び大田石丸、5割を超える地区は13地区であります。しかし、杵築を除く地区で徒歩圏人口密度の低下が見込まれています。

■徒歩圏人口密度及びカバー率（2035）



子育て支援施設 徒歩圏域の人口密度

地区名		徒歩圏人口密度(人/ha)		立地件数	徒歩圏人口 カバー率(2035)	
		2010	2035			
都市計画区域	杵築地域	杵築	29.0	27.0	2	88.7%
		南杵築	18.5	15.4	4	90.0%
		宮司	6.4	6.0	-	15.8%
		馬場尾	-	-	-	0.0%
		大内	4.9	3.6	1	54.7%
		猪尾	4.0	3.2	2	63.2%
		片野	9.3	7.3	1	100.0%
		熊野	-	-	-	0.0%
		本庄	2.7	2.1	-	45.9%
		八坂	11.1	8.6	1	53.7%
		相原	2.5	1.9	-	50.0%
		中	3.7	3.0	1	93.8%
		日野	1.9	1.1	-	9.7%
		鴨川	-	-	-	-
		溝井	-	-	-	0.0%
		横城	-	-	-	-
		奈多	2.8	2.0	1	42.9%
		狩宿	5.1	4.0	-	17.1%
守江	3.9	3.0	2	52.7%		
都市計画区域合計		8.1	6.8	15	65.4%	
都市計画区域外	杵築地域	宮司	-	-	-	-
		馬場尾	-	-	-	-
		大内	-	-	-	0.0%
		本庄	-	-	-	-
		八坂	-	-	-	0.0%
		鴨川	1.8	1.2	-	4.3%
		岩谷	-	-	-	0.0%
		溝井	2.5	1.5	1	57.1%
		船部	2.1	1.2	-	13.6%
		大方平	-	-	-	0.0%
		横城	-	-	-	0.0%
		奈多	-	-	-	-
	山香地域	内河野	4.0	3.1	3	54.4%
		野原	10.1	7.2	-	22.9%
		倉成	1.7	1.1	-	19.0%
		小武	-	-	-	0.0%
		広瀬	2.3	1.5	2	51.9%
		日指	-	-	-	0.0%
		久木野尾	-	-	-	0.0%
		南畑	-	-	-	0.0%
		山浦	0.8	0.5	1	27.9%
		吉野渡	-	-	-	0.0%
	向野	-	-	-	0.0%	
	立石	2.4	1.7	2	58.9%	
	下	-	-	-	0.0%	
	大田地域	大田小野	-	-	-	0.0%
		大田永松	-	-	-	0.0%
		大田杏掛	0.7	0.4	-	9.1%
大田石丸		1.4	0.7	2	100.0%	
大田白木原		-	-	-	0.0%	
大田波多方		-	-	-	0.0%	
大田俣水	-	-	-	0.0%		
都市計画区域外合計		2.4	1.6	11	23.5%	
合計		5.7	4.6	26	51.9%	

※徒歩圏は、施設から800m圏内

※徒歩圏人口密度は、(徒歩圏内人口)÷(徒歩圏面積)で算定

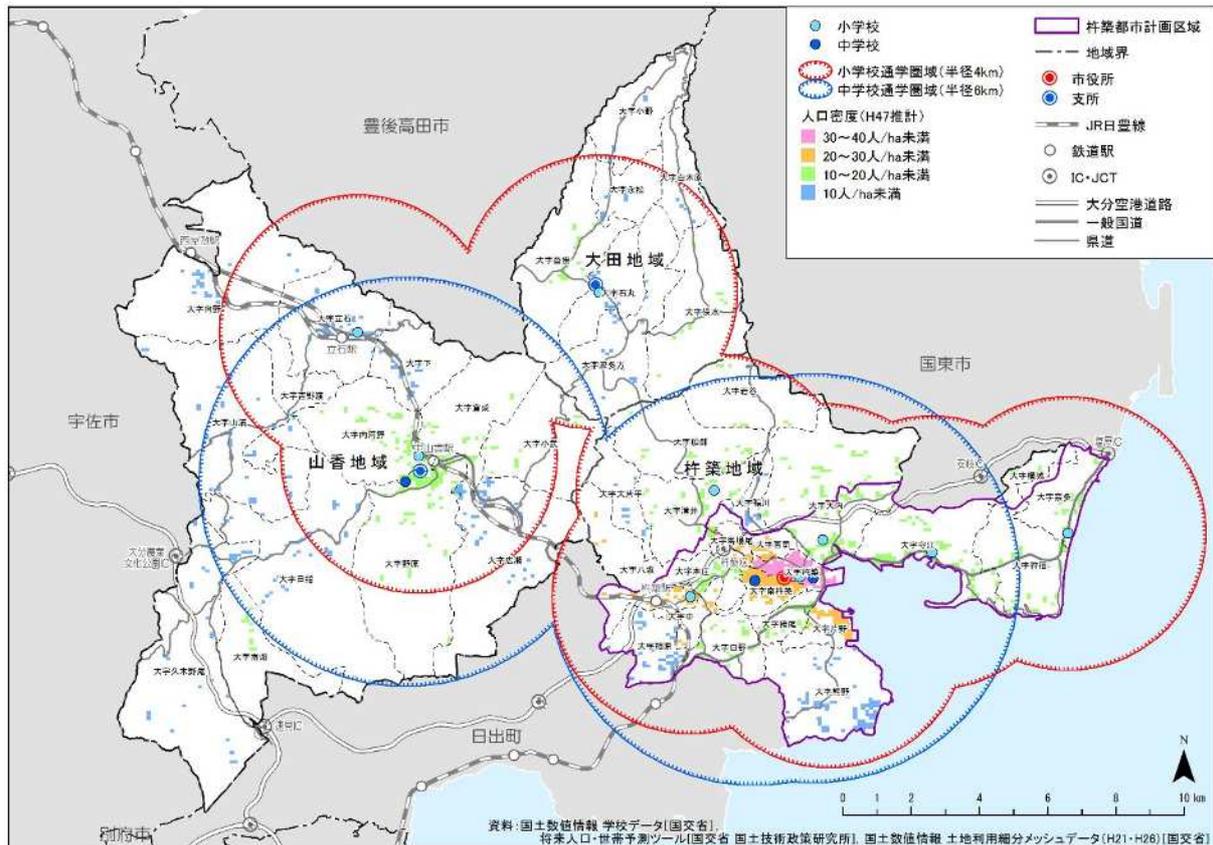
※徒歩圏人口カバー率は、(字別徒歩圏内人口)÷(字人口)で算定

⑥教育施設（小学校・中学校）の徒歩圏域の人口密度

教育施設（小学校・中学校）の総数は13校で、そのうち小学校が10校、中学校が3校あります。

2035年時点において、全ての地区で徒歩圏人口密度の低密度化が進行するものの、小学校及び中学校の徒歩圏カバー率は、ほぼ全ての地区で高いことが見込まれています。

■徒歩圏人口密度及びカバー率（2035）



小学校 徒歩圏域の人口密度

地区名		徒歩圏人口密度(人/ha)		立地件数	徒歩圏人口 カバー率(2035)	
		2010	2035			
都市計画区域	杵築地域	杵築	24.7	23.1	1	100.0%
		南杵築	15.5	12.8	-	100.0%
		宮司	6.9	6.4	-	100.0%
		馬場尾	5.1	4.1	-	100.0%
		大内	3.6	2.6	1	100.0%
		猪尾	4.2	3.4	-	100.0%
		片野	8.8	7.0	1	100.0%
		熊野	1.6	1.0	-	100.0%
		本庄	2.8	2.1	-	100.0%
		八坂	5.7	4.5	1	100.0%
		相原	1.6	1.2	-	100.0%
		中	3.3	2.7	-	100.0%
		日野	2.3	1.3	-	100.0%
		鴨川	-	-	-	-
		溝井	2.3	1.4	-	100.0%
		横城	-	-	-	-
		奈多	1.8	1.3	1	100.0%
		狩宿	1.5	1.2	-	100.0%
守江	2.7	2.0	1	100.0%		
都市計画区域合計		4.1	3.3	6	100.0%	
都市計画区域外	杵築地域	宮司	-	-	-	-
		馬場尾	-	-	-	-
		大内	0.9	0.7	-	100.0%
		本庄	-	-	-	-
		八坂	0.4	0.3	-	100.0%
		鴨川	2.3	1.6	-	100.0%
		岩谷	0.2	0.1	-	100.0%
		溝井	1.2	0.7	1	100.0%
		船部	0.6	0.3	-	100.0%
		大方平	0.5	0.2	-	100.0%
		横城	1.1	0.7	-	100.0%
		奈多	-	-	-	-
	山香地域	内河野	1.2	0.9	1	100.0%
		野原	2.3	1.7	-	97.9%
		倉成	0.7	0.5	-	100.0%
		小武	0.5	0.2	-	100.0%
		広瀬	1.0	0.7	-	83.3%
		日指	0.3	0.2	-	100.0%
		久木野尾	0.4	0.3	-	68.3%
		南畑	0.5	0.3	-	100.0%
		山浦	0.4	0.3	-	81.4%
		吉野渡	0.2	0.1	-	100.0%
		向野	0.1	0.1	-	14.3%
		立石	1.0	0.7	1	100.0%
	下	0.6	0.3	-	100.0%	
	大田地域	大田小野	0.6	0.3	-	9.1%
		大田永松	0.6	0.3	-	100.0%
		大田沓掛	0.5	0.3	-	100.0%
		大田石丸	0.5	0.2	1	100.0%
		大田白木原	0.6	0.3	-	100.0%
大田波多方		0.3	0.1	-	100.0%	
大田俣水	0.4	0.3	-	100.0%		
都市計画区域外合計		0.7	0.4	5	93.1%	
合計		1.5	1.1	11	97.8%	

※徒歩圏は、施設から4km圏内

※徒歩圏人口密度は、(徒歩圏内人口)÷(徒歩圏面積)で算定

※徒歩圏人口カバー率は、(字別徒歩圏内人口)÷(字人口)で算定

中学校 徒歩圏域の人口密度

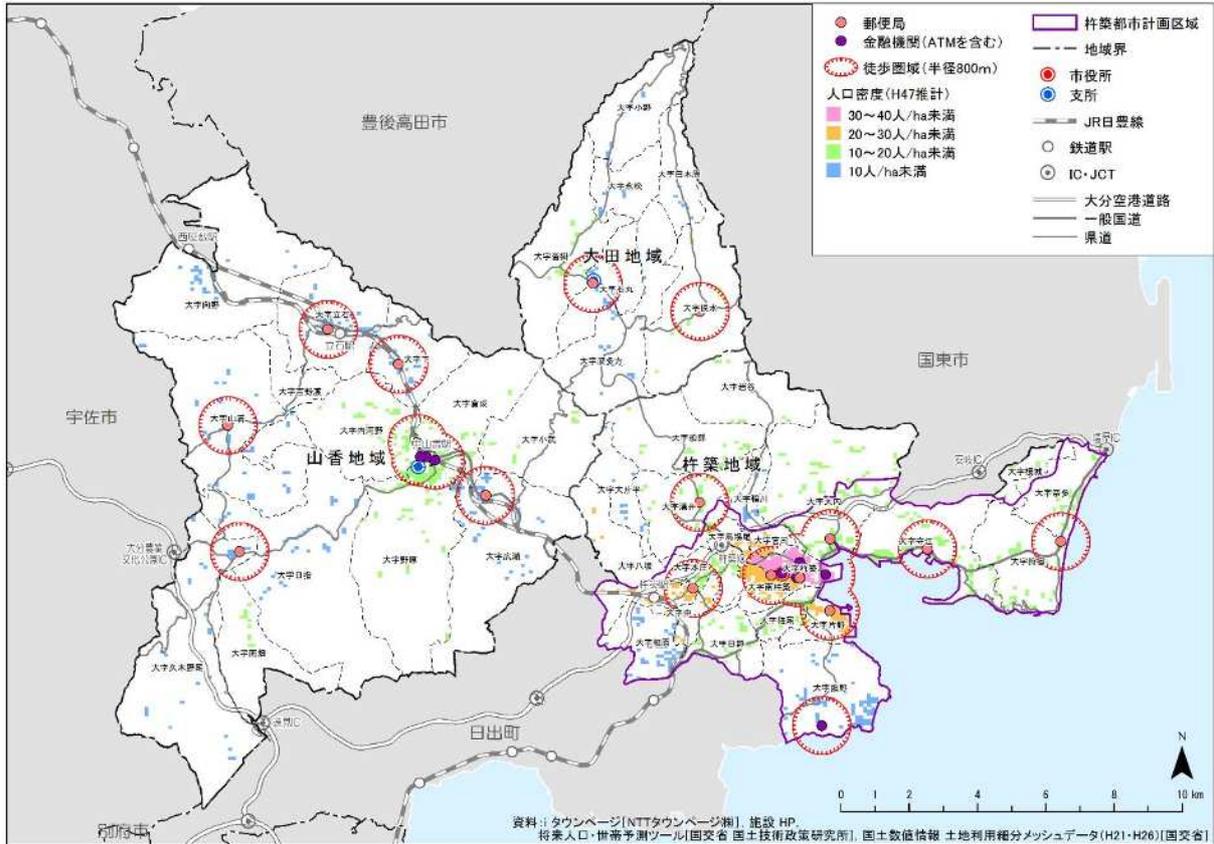
地区名		徒歩圏人口密度(人/ha)		立地件数	徒歩圏人口 カバー率 (2035)	
		2010	2035			
都市計画区域	杵築地域	杵築	24.7	23.1	1	100.0%
		南杵築	15.5	12.8	1	100.0%
		宮司	6.9	6.4	-	100.0%
		馬場尾	5.1	4.1	-	100.0%
		大内	3.6	2.6	-	100.0%
		猪尾	4.2	3.4	-	100.0%
		片野	8.8	7.0	-	100.0%
		熊野	1.6	1.0	-	100.0%
		本庄	2.8	2.1	-	100.0%
		八坂	5.7	4.5	-	100.0%
		相原	1.6	1.2	-	100.0%
		中	3.3	2.7	-	100.0%
		日野	2.3	1.3	-	100.0%
		鴨川	-	-	-	-
		溝井	2.3	1.4	-	100.0%
		横城	-	-	-	-
		奈多	-	-	-	0.0%
		狩宿	0.9	0.7	-	22.9%
		守江	2.7	2.0	-	100.0%
	都市計画区域合計		4.5	3.7	2	94.1%
都市計画区域外	杵築地域	宮司	-	-	-	-
		馬場尾	-	-	-	-
		大内	0.9	0.7	-	100.0%
		本庄	-	-	-	-
		八坂	0.3	0.3	-	100.0%
		鴨川	2.3	1.6	-	100.0%
		岩谷	0.2	0.1	-	62.5%
		溝井	1.2	0.7	-	100.0%
		船部	0.6	0.3	-	95.5%
		大方平	0.4	0.2	-	92.3%
		横城	-	-	-	0.0%
		奈多	-	-	-	-
		山香地域	内河野	1.2	0.9	1
	野原		1.6	1.1	-	100.0%
	倉成		0.7	0.5	-	100.0%
	小武		0.4	0.2	-	100.0%
	広瀬		0.5	0.4	-	100.0%
	日指		0.3	0.2	-	100.0%
	久木野尾		0.9	0.6	-	22.0%
	南畑		0.4	0.2	-	9.1%
	山浦		0.5	0.3	-	86.0%
	吉野渡		0.2	0.1	-	100.0%
	向野		-	-	-	0.0%
	大田地域	立石	1.2	0.9	-	94.6%
		下	0.6	0.3	-	100.0%
		大田小野	-	-	-	0.0%
		大田永松	-	-	-	0.0%
		大田杏掛	-	-	-	0.0%
		大田石丸	-	-	-	0.0%
		大田白木原	-	-	-	0.0%
		大田波多方	-	-	-	0.0%
	大田俣水	-	-	-	0.0%	
都市計画区域外合計		0.7	0.5	1	78.6%	
合計		1.7	1.3	3	89.1%	

※徒歩圏は、施設から6km圏内

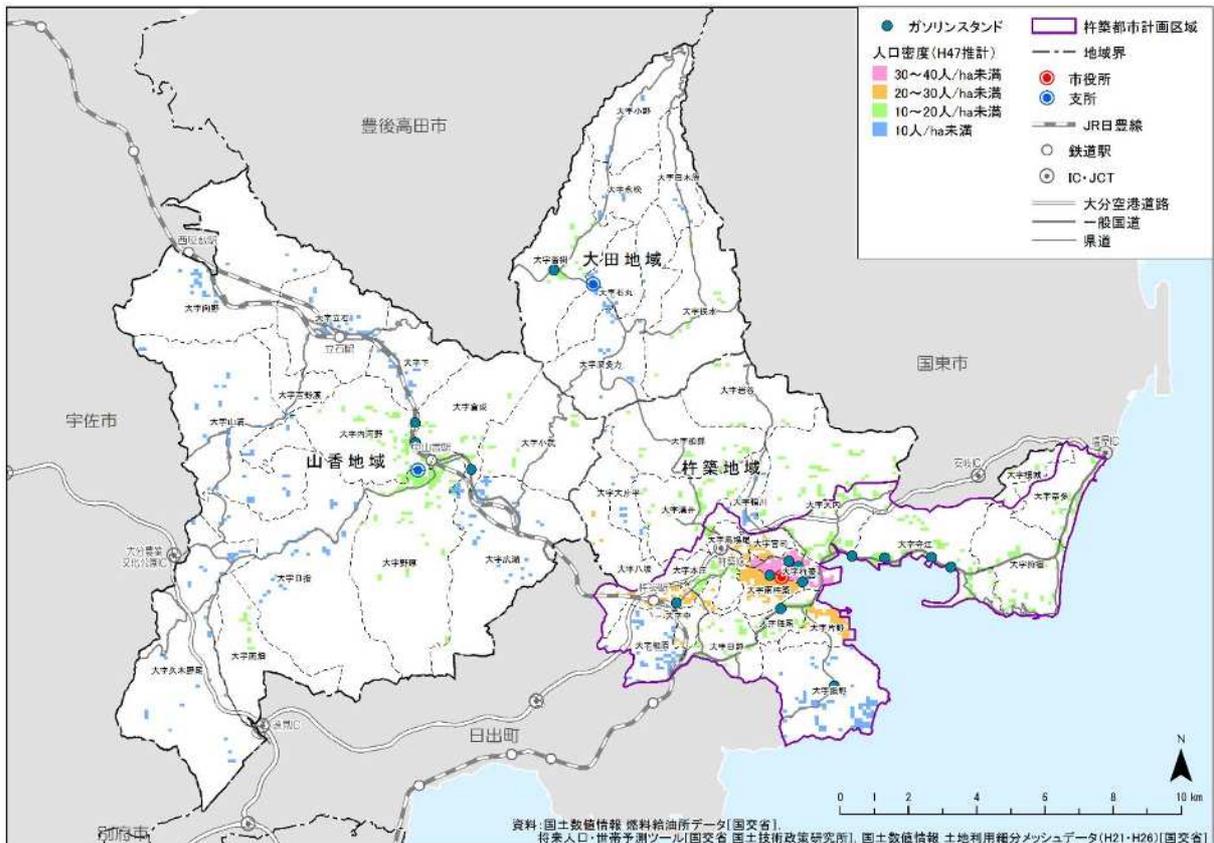
※徒歩圏人口密度は、(徒歩圏内人口)÷(徒歩圏面積)で算定

※徒歩圏人口カバー率は、(字別徒歩圏内人口)÷(字人口)で算定

(参考) 郵便局・金融機関 (ATMを含む) の立地状況



(参考) ガソリンスタンドの立地状況



5. 地域経済

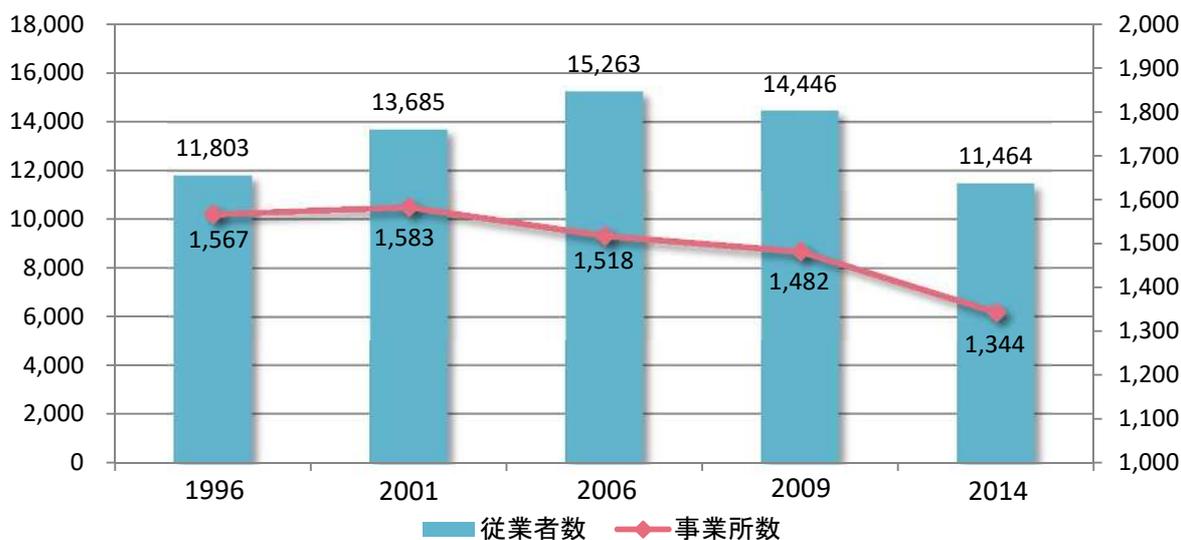
(1) 事業所数・従業者数の推移

事業所数は、2001年より減少に転じ、2014年時点で1,344事業所となっています。

従業者数は、2006年より減少に転じ、2014年時点で11,464人となっています。

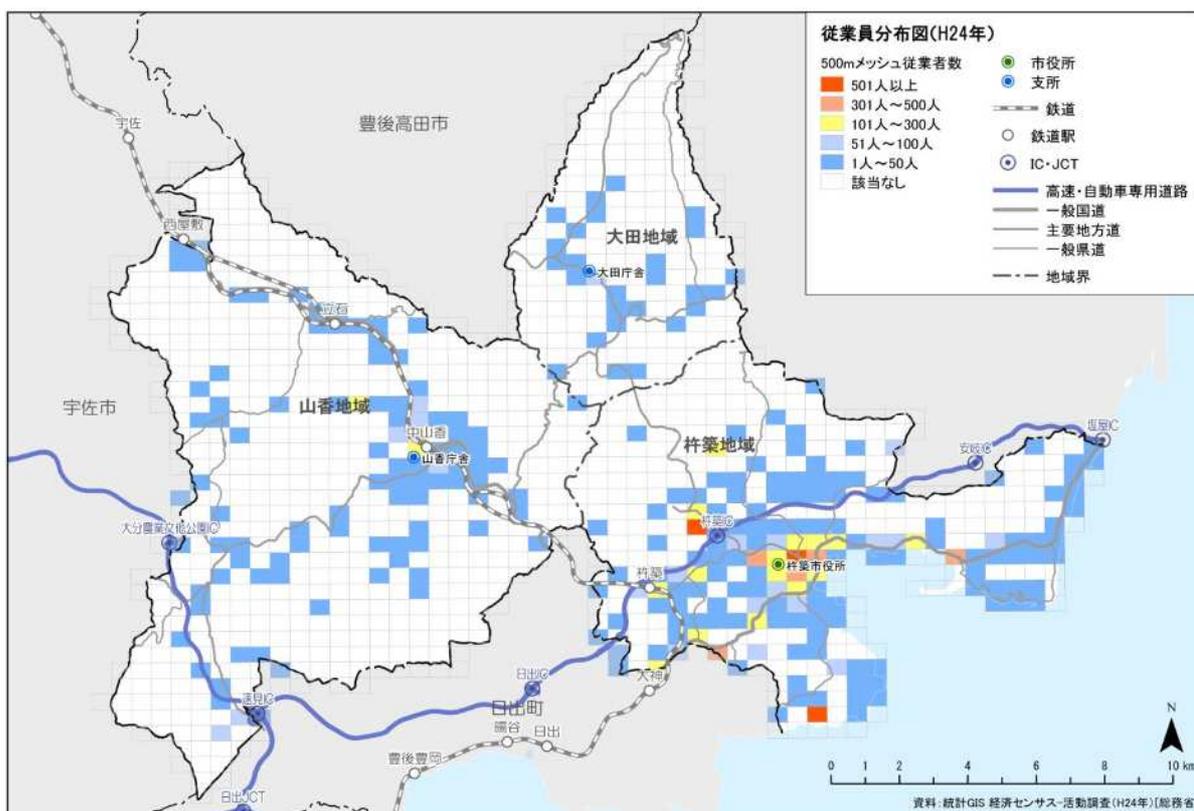
事業所・従業員は、杵築バスターミナル周辺の市街地にまとまって分布しているほか、工業地域に指定されている地区に501人以上のメッシュが分布しています。

■事業所数、従業者数の推移



資料：杵築市統計年鑑

■従業員の分布 (H24)



(2) 小売店を取り巻く環境の推移

小売業を取り巻く環境の推移は、2004年と比較して2014年の事業所数、従業者数、年間商品販売額、売場面積はともに減少しており、厳しい商業環境にあります。

■小売業を取り巻く環境の推移

	小売業計				うち 飲食料品小売業			
	事業所数	従業者数	年間商品販売額	売場面積	事業所数	従業者数	年間商品販売額	売場面積
2004	393	1,766	26,607	44,406	180	775	8,715	11,661
2007	369	1,794	29,179	60,428	148	692	8,598	12,341
2014	231	1,227	21,902	42,908	69	436	6,363	8,827
2014-2004	△162	△539	△4,705	△1,498	△111	△339	△2,352	△2,834
増減率 (%)	△57.8	△68.5	△81.3	△95.6	△37.3	△55.3	△72.0	△74.7

資料：商業統計調査

■従業者数、事業所数の推移



資料：商業統計調査

■年間商品販売額、売場面積の推移



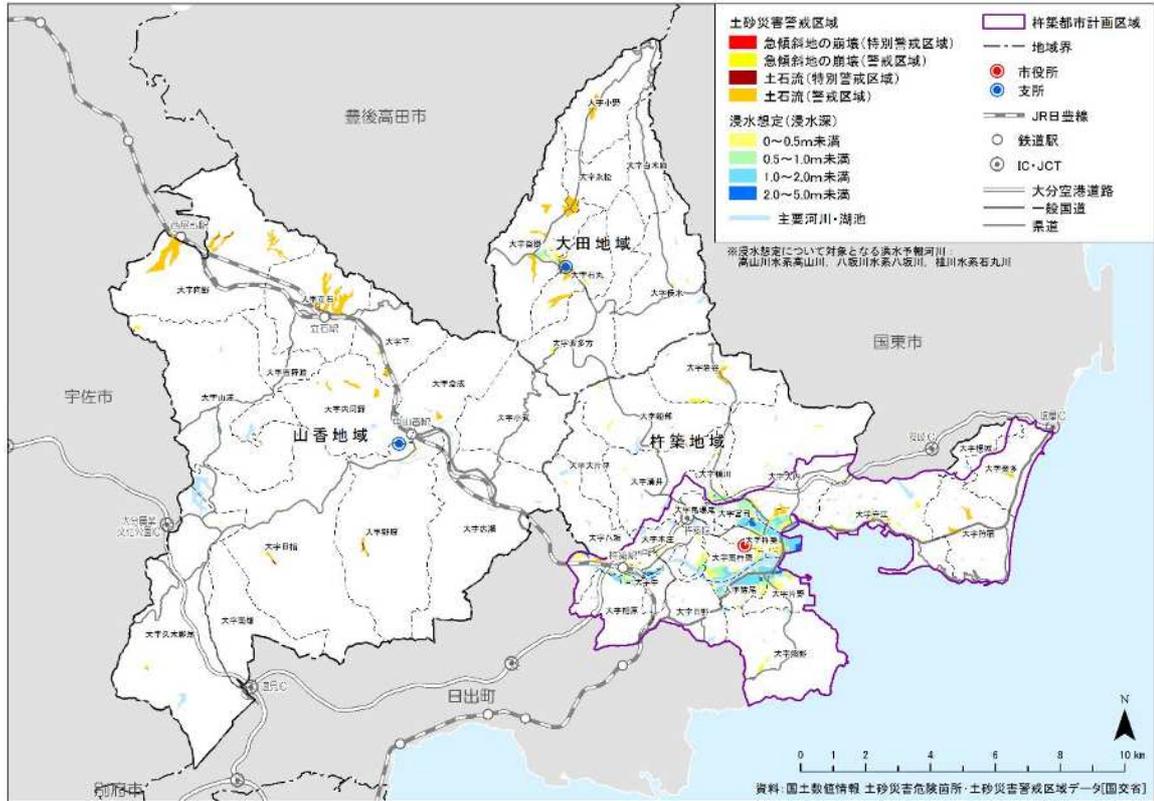
資料：商業統計調査

6. ハザード区域の状況

土砂災害防止法（土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律）に基づく「土砂災害警戒区域」は、市内各所に指定されています。

浸水想定区域は、八坂川及び高山川沿いの地域に多く指定され、また、津波による浸水想定区域は、海拔8m以下の区域が指定されています。

■土砂災害、洪水ハザード区域



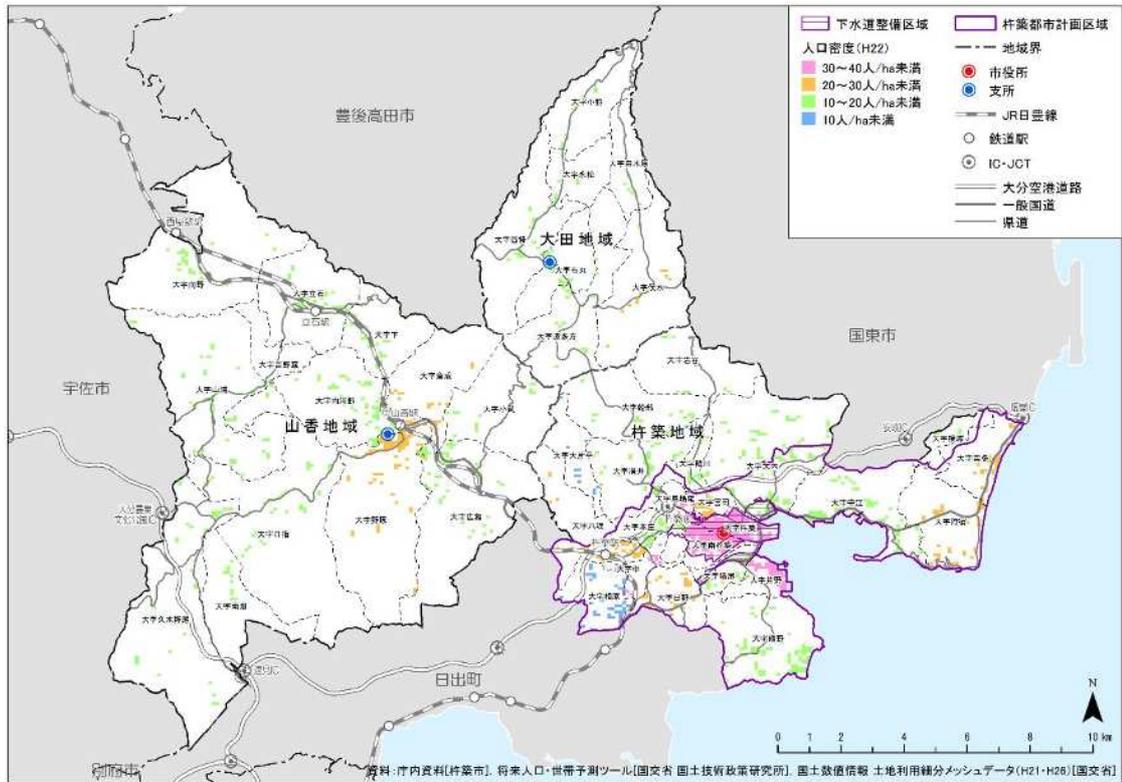
■津波災害危険区域



7. 都市施設整備状況

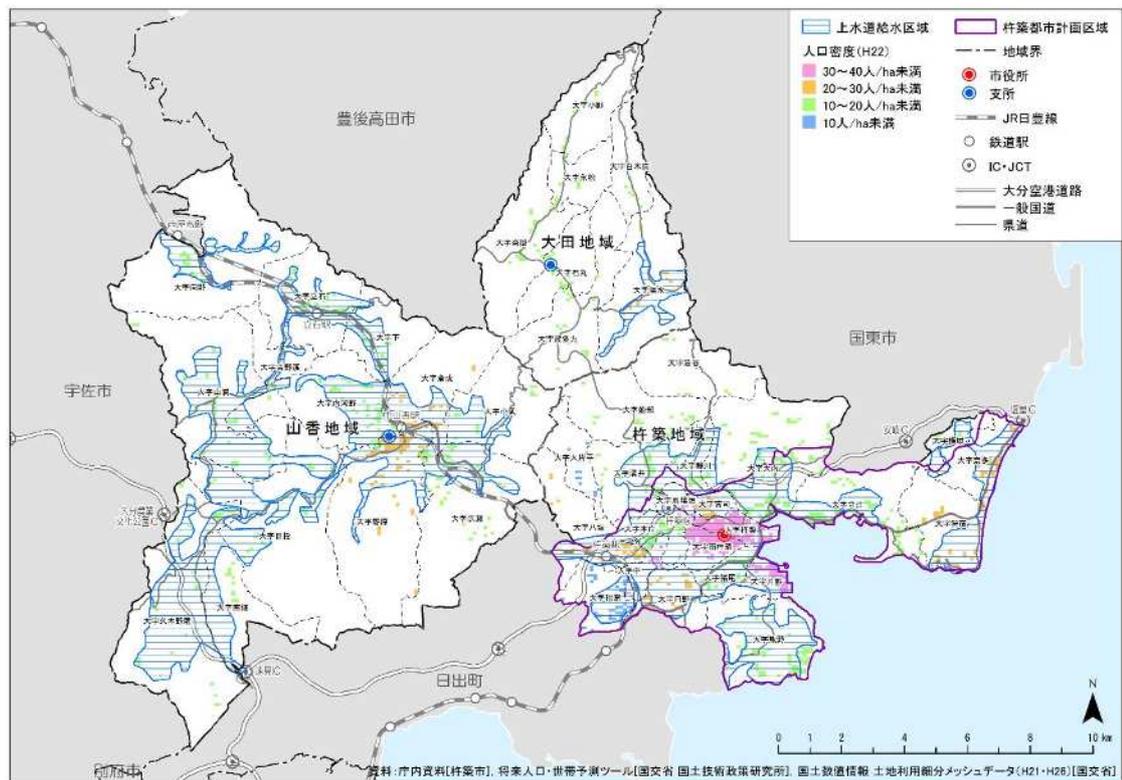
(1) 下水道整備状況

下水道は、用途地域内を中心に整備が進められていますが、本計画の内容に合わせ見直しを行います。



(2) 上水道整備状況

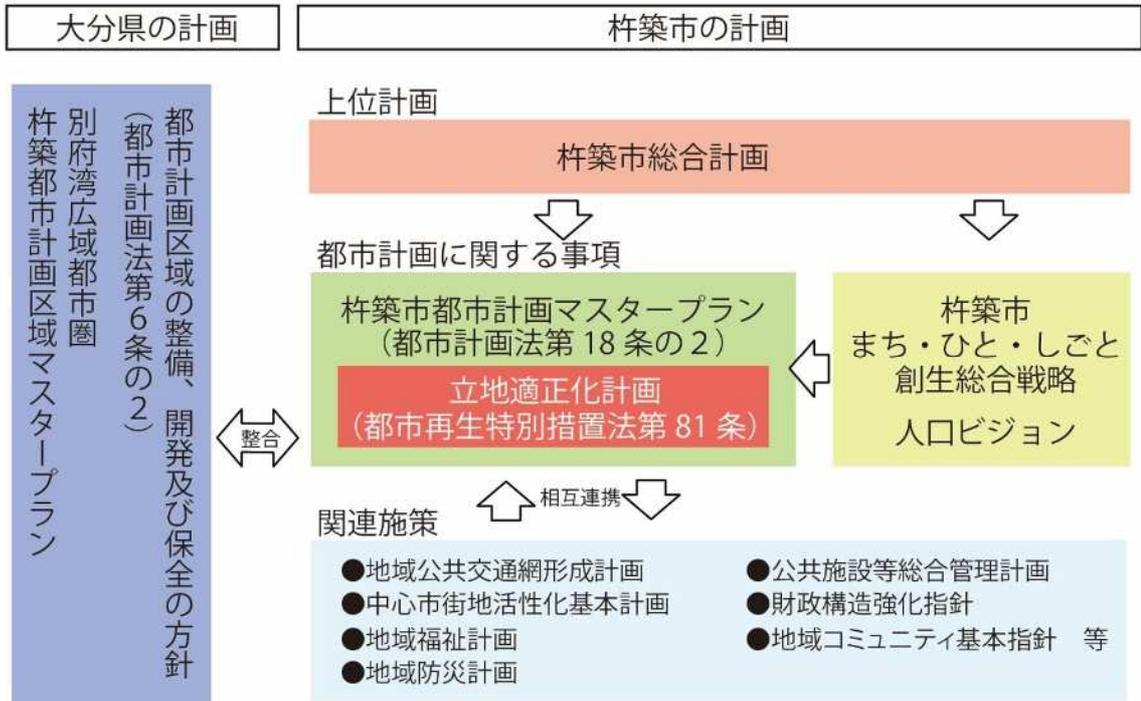
上水道は、用途地域内は全て整備されており、市内全域においても居住者のいる地区を中心に広く整備されています。



8. 計画の位置づけ

本計画は、総合計画等の上位計画に基づき、都市計画に関する基本方針を定める「都市計画マスタープラン」の一部として位置づけられ、多様な分野の関連施策等との連携を図りながら、実現に向けた取り組みを進めます。

■立地適正化計画の位置づけ



上位計画及び関連計画に掲げられた現状のまちづくりに関する方針及び概要は、以下のとおりです。

(1) 杵築都市計画区域の整備、開発及び保全の方針／2011年3月（大分県）

【目標年次】 2030年

【都市づくりの基本目標】

自然の幸・都市（まち）の幸をはぐくみ、次世代につなぐ、私たちの都市づくり

【都市計画区域の基本方針】

- | | |
|-------------------------------|--------|
| ① 必要な都市機能が集約した都市づくり | 【都市構造】 |
| ② 地域の魅力や価値の向上があふれる都市づくり | 【都市再生】 |
| ③ 安全で安心して暮らせる都市づくり | 【安全安心】 |
| ④ 歴史・文化を保全し、観光資源を創出する美しい都市づくり | 【環境】 |
| ⑤ 私たちの地域は私たちがつくる地域主体の都市づくり | 【地域主体】 |

【主要用途の配置の方針】

① 商業地、業務地

・都市計画道路3・4・4宗近魚町線沿道及び都市計画道路3・4・7田平北浜線沿道に商業地を設置し、それぞれの立地特性に応じた商業施設の集積及び既存商店街の活性化を図る。

(2) 杵築市総合計画／2017年4月

【計画期間】2017年度～2024年度

【将来像】人・自然・文化が調和した 安心・安全で活力あふれるまち

<基本計画（計画期間：（前期）2017～2019年度、（後期）2020～2024年度）>

【6つの柱の基本方針】

- ①安心・安全な暮らしをささえるまちづくり
- ②地域の活力を生むまちづくり
- ③豊かな自然と文化を大切にするまちづくり
- ④ひとが育ち、輝くまちづくり
- ⑤ひと、もの、情報の流れをささえるまちづくり
- ⑥コミュニティの発展をささえるまちづくり

【住環境・拠点形成に関わる関連施策】

①安心・安全な暮らしをささえるまちづくり

1) 消防・防災対策の充実

- ・災害時の通信体制の確立。
- ・急傾斜地崩壊危険箇所や危険ため池の整備、海岸、河川の改修等、災害に強いまちづくりを推進。
- ・防火水槽の設置や補修をはじめ、消防ポンプ車や小型動力ポンプ付積載車等の整備を計画的に進める。

2) 防犯体制の確立

- ・防犯灯の設置整備。
- ・地域の自主防犯組織によるパトロールを推奨。

②感性豊かで活力を生むまちづくり

1) 定住促進策の充実

- ・若年者世帯の定住やU・J・Iターン希望者の移住対策としての分譲宅地の整備。U・J・Iターン希望者のニーズに沿った情報提供の発信整備。転入者に対する定住支援策の充実。
- ・既存の住宅ストックを総合活用し住環境の向上と機能改善を進める。ともに、計画的な市営住宅の整備。
- ・菜園付住宅の整備など、魅力ある定住環境づくり。

2) 商工業の振興

- ・歴史的まち並みなどの地域資源を活かした商店街づくり。観光客を対象にした商店街再生による消費拡大。魅力的でにぎわいのある商業基盤の整備。
- ・優良企業の誘致や、豊富に有する地場産品を活用した産業の振興。

3) 集客・観光の振興

- ・文化観光施設の充実や駐車場・公衆トイレ・観光案内版などの観光基盤の整備。
- ・観光イベントの情報発信。
- ・大分県北部地域観光圏協議会と連携した広域的な誘客活動、観光ルートの開発。
- ・グリーンツーリズムやブルーツーリズムの推進。

③豊かな自然と文化を大切にすまちづくり

1) 自然の保全と活用

- ・八坂川支流である立石川の坑廃水湧水防止工事を行う。
- ・「景観法」に基づく届出基準等を定めた「杵築市景観条例」を制定。
- ・U・J・Iターン希望者のニーズに対応した、菜園付住宅の整備など、魅力あふれる定住環境づくり。

2) 歴史・文化遺産の保存と活用

- ・文化財の保存・修復・復元事業を行い、歴史的景観の保全に努める。城下町の歴史的景観の中核をなす文化財施設（大原邸等）の計画的な補修。

④利便性の高いまちづくり

1) 道路網の整備

- ・幹線道路における長期的・計画的な整備／県道の2車線化の推進（困難箇所は1.5車線化を県に働きかけ）
- ・生活系道路の整備。安全で快適な道づくり。
- ・自動車交通量が多く、通学・通勤者等の多い幹線道路における歩車の分離化

2) 公共交通の充実

- ・山香、大田地域における既存コミュニティバスと乗合タクシー導入による運行の効率化／一般路線バス運行の見直し、廃止路線等の代替策としてコミュニティバスや乗合タクシーの運行の検討
- ・公共交通空白地域の解消、高齢者など交通弱者の交通手段の確保を目的とした新たな乗合タクシーを導入等、公共交通の充実
- ・JR九州や九州運輸局に、高速・複線化や増便の要請／コミュニティバスや乗合タクシーとの乗り継ぎの連携

3) 上・下水道の整備

ア) 水道事業

- ・水道施設全体の安全性確保。
- ・適切な施設の配置。
- ・老朽化施設の改良、更新などを計画的に実施。

イ) 下水道事業

- ・公共下水道や農業集落排水への接続を促進。
- ・公共下水道事業の早期完成、合併処理浄化槽の設置の推進。

⑤市民が主役のまちづくり

1) 市民と行政の協働のまちづくり

- 住民自治協議会の活動を側面から支援し、地域づくりの中心的役割を担っていただけるよう財政的支援や協議会相互の協力体制の構築
- NPO活動やボランティア活動に対して、活動拠点となる施設の提供や行政業務の外部委託など、相互補完できる体制の推進
- 的確な媒体による効果的な情報発信
- 意識調査の実施（市政運営の方向性、施策の重要度・満足度の把握）

<人口ビジョン>

将来展望人口として、2025年に27,117人、2035年に23,981人と設定している。

■人口の将来展望



資料：人口ビジョン

<まち・ひと・しごと創生総合戦略>

【基本理念】

100年住みたくなる めぐりめぐる循環型のまちづくり

【基本目標】

- 1) 地方における安定した雇用を創出する
- 2) 地方への新しい人の流れをつくる
- 3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 4) 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【事業の取組方針】

①経済競争力の向上・投資したくなる魅力ある地域づくり

- ・魅力で活力ある商業機能の充実
- ・丸ごと創業支援事業の推進
- ・市全域にわたる観光事業の推進

②杵築市を好きになるまちづくり・家族と住めるまちづくり・やりがいのある仕事、受けたい教育のあるまちづくり

- ・生活設計ができる移住パッケージの開発
- ・住みたい物件が見つかる「空き家バンク」の充実
- ・Kit-suki (きっとすき) になるグリーンツーリズム (農村交流)
- ・Kit-suki (きっとすき) になる学生研修の受け入れ

③子どもを産み育てやすいまちづくり・地域で一体となった子育てをするまちづくり

④既存コミュニティの存続支援・コミュニティ協働への価値付け

- ・気軽にお出かけできる地域交通
- ・将来にわたって持続可能なまちづくり
- ・地域を元気にする空き施設の活用

(4) 杵築市都市計画マスタープラン／2011年3月

【目標年次】 2030年

【将来人口】 31,000人

【基本理念】 城下町と自然と人が共生するくらしやすいまちづくり

市街地づくりのテーマ：未来につなぐオールド&コンパクトシティ

郊外地域づくりのテーマ：山の幸・海の幸と共に暮らす豊かなナチュラルライフ

【まちづくりの目標】

- ・コンパクトなまち・暮らしやすいまち
- ・歴史文化と共生するまち
- ・「歩き」の空間を大事にするまち
- ・自然の恵みを満喫できるまち
- ・まちづくりに手を取りあうまち

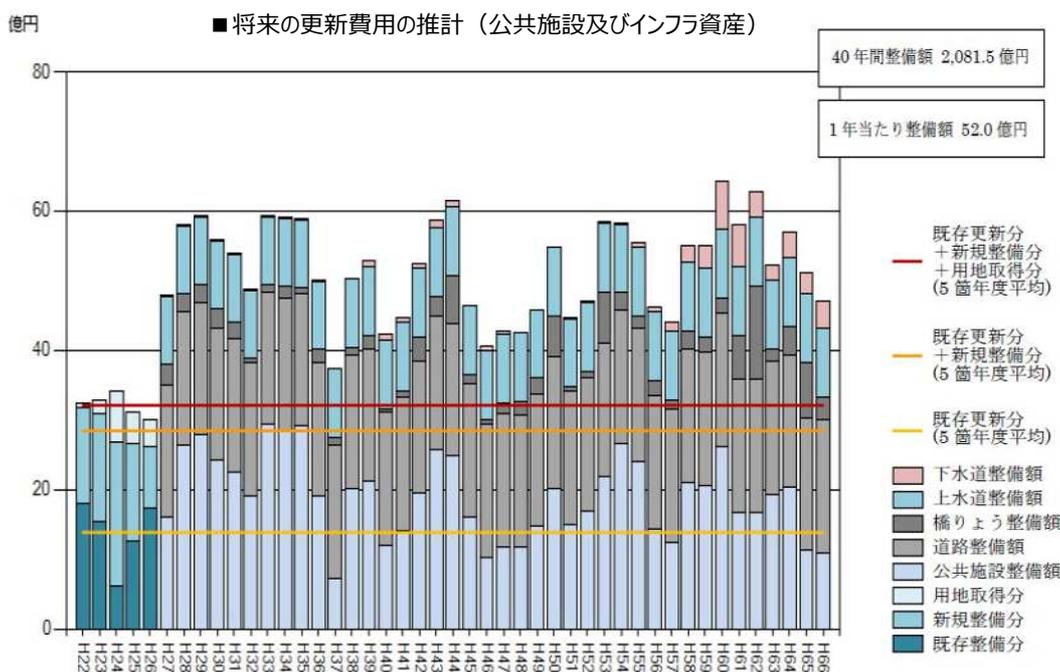
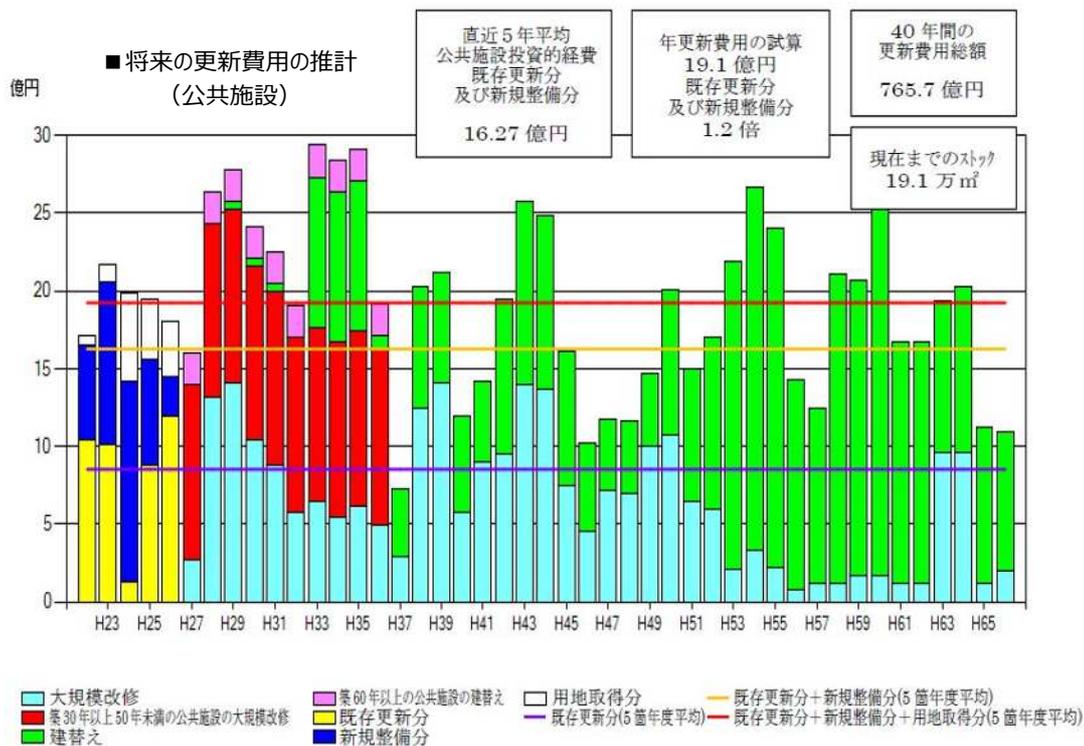
【将来都市構造・将来市街地構造】

ゾーン	都市生活ゾーン	既存の都市機能の集積がみられる既成市街地を中心として、都市生活ゾーンを配置します。このゾーンでは、住む、働く、憩うなどの都市生活を充足する役割を果たし、快適で魅力的な生活環境の形成を図ります。
	近郊生活ゾーン	都市生活ゾーンに隣接するJR杵築駅の周辺地域には、近郊生活ゾーンを配置します。このゾーンでは、鉄道駅や幹線道路、または中核都市別府・大分との利便性を活かし、住居機能、商業業務機能、農業生産機能など、多種の機能が調和した空間を目指します。
エリア	城下町エリア	「坂道の城下町」である特色を最大限に活かし、賑わいと歴史の共存する市街地づくりを推進する城下町エリアを位置づけます。
	都市生活エリア	城下町エリアを取巻く地区については、都市の利便性の向上や都市基盤の充実による居住環境の向上を図り、活力ある市街地づくりを推進する都市生活エリアとして位置づけます。
軸	広域都市軸	自動車専用道路である宇佐別府道路と日出バイパス、大分空港道路は、大分空港や九州各地との広域的な都市活動を連携している軸であることから、広域都市軸として位置づけ、各インターチェンジへのアクセス性の向上と周辺の土地活用を推進します。
	広域連絡軸	日出町と大分空港や国東半島を結ぶ国道213号および県道藤原杵築線は、多くの通過交通が見込まれることから、杵築市の骨格を形成する広域連絡軸として位置づけます。また、国道10号と主要地方道大田杵築線は、都市中心拠点と地域中心拠点を結ぶ広域連絡軸として位置づけ、道路機能と連携の強化を図ります。
	産業軸	都市中心拠点と各産業拠点を結ぶ路線については、産業軸として位置づけ、円滑な交通移動を確保するための道路整備を推進します。
拠点	都市中心拠点	旧城下町、北浜・塩田地区を含めた杵築市の中心市街地については、行政機能、商業・業務機能の集積する都市中心拠点として位置づけ、杵築市の顔となる整備を推進します。
	都市のサブ拠点	JR杵築駅の周辺地域については、その利便性を活かした中心市街地を補完する都市のサブ拠点として位置づけ、杵築市の玄関口としての整備を推進します。
	産業拠点	市内に点在する工業団地や大規模工業地を産業拠点として位置付け、各拠点との連携強化や幹線道路の整備を図り、企業にとって魅力ある工業地の形成を推進します。
	緑の拠点	中心市街地にある総合公園をはじめとした大規模な公園・緑地については、緑の拠点として位置付け、レクリエーション機能の充実と連携強化を図ります。

(5) 杵築市公共施設等総合管理計画 / 2017年3月

【将来の更新費用】

- 現状の施設をすべて保有した場合、公共施設（ハコモノ）では今後40年間で765億円、年平均19.1億円の財源が必要と推計し、将来の大幅な税収増は難しく、逆に扶助費等の増加によって、公共施設の維持管理費に充てられる財源は減少することと予想している。
- 公共施設、インフラ施設あわせると、今後40年間で2,081億円、年平均52億円の財源が必要で、これまでにかけた投資的経費の年平均と比較して1.8倍もの費用が必要としている。



資料：杵築市公共施設総合管理計画

【公共施設のあり方に関する基本的な方針】

①公共施設の適正化

将来を見据えて、最適で最良なサービスを提供できる施設を目指す。計画的に施設の集約化や老朽施設の廃止を推進することで、今後20年間で約30%の保有面積を削減。

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1) 施設の適正配置と集約化 | 2) 既存施設の有効活用 |
| 3) 施設の譲渡、廃止等 | 4) 施設の耐震化 |
| 5) 国、県の施設の相互利用及び近隣市町との共同設置 | |

②公共施設等の適切な維持管理

- ・長寿命化
- ・省エネルギー化
- ・合併前の行政区域にとらわれず、相互に関連する公共施設等の立地環境も考慮した適切な配置
- ・機能強化
- ・使用料金の見直しやIT化等の推進

③施設類型ごとの管理に関する基本的な考え方

建築物	小中学校	・地域コミュニティの核として今後の方針を検討。幼稚園についても少子化を見据えた適正規模・適正配置を検討。
	市営住宅	・予防的修繕の実施。利用者ニーズを踏まえ、取り壊しや建て替え等の検討。
	市役所庁舎等	・庁舎の長寿命化や建て替えも見据えた検討、防災拠点として安全性や耐震性の確保。
	文化施設（文化体育館、観光交流センター）	・地域住民が利用する施設：利用状況等を踏まえて今後の更新を検討 ・広域利用が可能な施設：広域的な観点での配置を検討（周辺市町との共同利用等）
	病院施設（山香病院）	・適正規模の施設に向けたあり方の検討
	公民館・集会所	・他の施設の集会機能を含めた集約化、他の機能との複合化等の検討
	健康福祉センター、健康推進館、老人いこいの家	・役割や機能、特性に合わせた維持管理
	産業系施設（杵築ふるさと産業館等）	・行政施設として維持する必要性の検討
	社会教育系施設（図書館等）	・市立図書館の移築新築
	消防施設（消防機庫等）	・著しく老朽化の進んだ施設から更新を検討
	公園（トイレ）	・今後の公園利用者の動向を踏まえた維持管理
	子育て支援施設（児童館、子ども園等）	・小学校の施設管理や施設整備とも整合性を図り、運営コスト面や集団保育のニーズ等を踏まえながら施設運営のあり方を検討
インフラ施設	・中長期的にコスト削減を目指したアセットマネジメントによる取組を推進。予防的修繕を実施。役割や機能、特性に合わせた更新時期を決定。優先順位を考慮しながら適正な維持管理。	

(6) 杵築市地域公共交通網形成計画 / 2017年3月

【基本方針】

地域住民と事業者と行政の協働による
持続可能な「つかう・つなぐ・つづける」地域公共交通

- ・住民とともに、地域公共交通の社会的役割を理解し、公共交通のあり方を考える。
- ・公共交通事業者間の連携によって、重複路線の解消や乗継しやすさの向上を目指す。
- ・まちづくりの方向性や地域公共交通の現状などを踏まえ、「持続可能性」の視点を加え、テーマを「つかう・つなぐ・つづける」とする。

【計画の目標】

- 1) 「つかう」ための目標：地域住民の理解による公共交通の意識向上と利用促進
- 2) 「つなぐ」ための目標：乗り継ぎしやすい公共交通を目指し、運行情報を一元化するなど利便性の改善
- 3) 「つづける」ための目標：利便性と経済性のバランスがとれた公共交通サービスの改善

【杵築市が目指す地域公共交通網のすがた】



項目	役割	該当路線等	
拠点	都市交通拠点	都市拠点間連携軸と地域拠点間連携軸を連絡することで、広域的な移動や市街地へのアクセス向上を図る乗り継ぎの拠点	・JR杵築駅
	地域交通拠点	集落ネットワークと地域拠点間連携軸等を連絡することで、地域間のアクセス向上を図る乗り継ぎの拠点	・JR山香駅 ・杵築バスターミナル ・大田庁舎
軸	都市拠点間連携軸	市境を跨いだ広域的な移動や、拠点間の連携・交流、特に地域交通拠点等から、多様かつ高度な都市機能が集積する中心拠点への円滑なアクセスを確保することで、市民の生活を支える役割を担う公共交通軸	・鉄道 ・民間路線バス
	地域拠点間連携軸	多様かつ高度な都市機能が集積し、賑わいの核でもある市街地内の回遊を高めることで、市街地の様々な機能にアクセスしやすい環境を形成し、市民生活の利便性を支える役割を担う公共交通軸	・コミュニティバス（幹線）見直し
	集落ネットワーク	地域拠点間連携の軸となる公共交通に接続する移動手段、通院や買い物、郵便・銀行といった日常生活を送る上で必要最低限の機能を有する施設、までの移動手段として、地域で生活し続けられる環境を維持する役割を担う公共交通軸	・コミュニティバス（支線） ・乗合タクシー ・地域主体の公共交通等

【目標を達成するために行う事業】

- ①利用促進活動の実施
- ②公共交通不便地域等における地域主体の公共交通のあり方の検討
- ③公共交通マップの作成
- ④交通結節点の機能改善
- ⑤民間路線バスのサービス見直し
- ⑥コミュニティバス及び乗合タクシーのサービス見直し
- ⑦バス車両の計画的更新
- ⑧他機関との連携

【計画期間】

2017年度～2021年度の5年間。ただし、事業は、2017年度～2019年度の3年間で重点的に実施し、2020年度～2021年度までの2年間は、主に事業の評価検討の期間と位置付ける。

<具体的スケジュール>

項目	H29	H30	H31	H32	H33
①利用促進活動の実施	→				
②公共交通不便地域等における地域主体の公共交通のあり方の検討	⋯	⋯	→	⋯	→
③公共交通マップの作成	⋯	→	⋯	⋯	→
④交通結節点の機能改善	⋯	⋯	→	→	→
⑤民間路線バスのサービス見直し		⋯	→	⋯	→
⑥コミュニティバス及び乗合タクシーのサービス見直し	→	→	→	⋯	→
⑦バス車両の計画的更新		⋯	⋯	⋯	→
⑧他機関との連携	⋯	⋯	⋯	⋯	→

⋯ 計画の立案 (Plan) → 評価・検証
→ 施策の実施 (Do) ⋯ 状況を把握しながら適切な時期に実施

(7) 杵築市景観計画 / 2013年3月

【景観計画区域】 市全域（地先公有水面を含む）

【目標】 豊かな感性を育むことにつながる、地域を磨く景観形成

【景観形成の心得】

- ① 地形・歴史・文化を受け継ぐ佇まいを大切にする
- ② 暮らしを彩る豊かな自然を大切にする
- ③ 賑わいと秩序のある身近な生活の眺めを大切にする
- ④ 農林水産業や集落と一体となったりわいの風景を大切にする
- ⑤ 杵築らしい眺望を大切にする

【基本方針】

- ① 空間、地物を磨きあげる
- ② よい眺めを楽しめる場をつくる
- ③ 市民・事業者・行政が力をあわせて、持続的に取り組む

【ゾーン区分】

まちのゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・杵築地域及び山香地域の中心部、JR 杵築駅周辺部において、家屋が連坦しており、市街地が広がっている区域 ・都市計画区域内の用途地域が指定されている区域（ただし、工業地域を除く）
里のゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・主として河川を中心とした広がりある農地と集落、背景となる里山や棚田、茶畑、果樹園などで構成された区域 ・まちのゾーン、山のゾーンに属さない区域
山のゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどが樹林地であり、標高がおおよそ200m以上の山々に覆われた区域 ・六郷満山文化に関する文化財が多く残っている国東半島県立自然公園（国東半島内陸部）を包含する区域
海・海辺のゾーン	<ul style="list-style-type: none"> ・伊予灘、別府湾、守江湾の海・海岸線及び海・海岸線を望見することができる区域 ・周囲との境界は、道路等の地形地物、筆界等で結ばれた線とする

■ゾーン区分図

